

島根半島・宍道湖中海（国引き）ジオパーク推進協議会令和5年度定例総会

日時：令和6年3月27日（水）14:00～15:30

会場：松江市 島根県市町村振興センター大会議室

1 報告事項

第1号報告 令和5年度事業報告 P2～26

第2号報告 島根半島・宍道湖中海ジオパークアクションプラン重点取組とKPI
（重要業績評価指標）の令和5年度進捗状況 P27～29

第3号報告 令和5年度一般会計決算見込 P30

2 議案

第1号議案 役員改選（案） P31

第2号議案 令和6年度事業計画（案） P32, 33

第3号議案 令和6年度一般会計予算（案） P34

第4号議案 島根半島・宍道湖中海ジオパーク保全管理計画（案） P35～45

第5号議案 島根半島・宍道湖中海ジオパークブランディング戦略（案） P46～52

3 その他

島根半島・宍道湖中海(国引き)ジオパーク推進協議会 令和5年度定例総会出欠簿

(敬称略)

	部会	選出分野	所 属	委員氏名	代理出席等	出欠		
会長 副会長 副会長 副会長	会長代行		松江市長	上定 昭仁		○		
			出雲市長	飯塚 俊之		○		
			松江商工会議所 会頭	田部 長右衛門		×		
			国立大学法人島根大学 名誉教授	小林 祥泰		○		
会員	学術・研究 部会	ジオ環境研究 分野	国立大学法人島根大学学術研究院環境システム科学系 教授	入月 俊明		○		
			島根県地学会 会長	渡辺 勝美		○		
			島根県立三瓶自然館サヒメル 副館長	井上 雅仁		○		
			国立大学法人島根大学 非常勤講師	佐藤 仁志		○		
			島根県埋蔵文化財調査センター 所長	熱田 貴保		○		
			出雲大社 権宮司	千家 和比古		×		
			一畑薬師管長	飯塚 大幸		×		
		歴史・神話・ 文化分野	荒神谷博物館 館長	藤岡 大拙		×		
			島根県立古代出雲歴史博物館 館長	多根 純		×		
			島根県立八雲立つ風土記の丘 所長	高屋 茂男		○		
			山陰万葉を歩く会、風土記を訪ねる会 会長	川島 美美子		×		
	小泉八雲記念館 館長		小泉 凡		○			
	観光・広報 部会		旅行・交通 分野	西日本旅客鉄道株式会社山陰支社山陰地域振興本部 副本部長	和田 昇司	課長 大東幸治		○
				一畑電気鉄道株式会社 代表取締役社長	足達 明彦		×	
			マスメディア・ 圏域メディア 分野	山陰中央テレビジョン放送株式会社 代表取締役社長	田部 長右衛門		×	
				NHK松江放送局 局長	増田 智子		○	
			株式会社山陰放送 代表取締役社長	坂口 吉平	営業局担当局長 兼松江支社長 原 秀俊		○	
			日本海テレビジョン放送株式会社 代表取締役社長	西 一泰	執行役員 島根総局長 山尾 義己		○	
			株式会社山陰中央新報社 代表取締役社長	松尾 倫男		×		
		山陰ケーブルビジョン株式会社 代表取締役社長	石原 俊太郎	制作課 番組CPD 山田勝美		○		
		出雲ケーブルビジョン株式会社 代表取締役	今岡 余一良	技術部長・制 作部長 金山央一郎		○		
		株式会社島根日日新聞 代表取締役社長	菊地 恵介		×			
		商工観光分野	出雲商工会議所 会頭	福間 正純		○		
			平田商工会議所 会頭	石原 俊太郎		×		
			まつえ北商工会 会長 (まつえ南商工会、東出雲商工会含む)	横原 顯		×		
			出雲商工会 会長	山崎 茂樹	事務局長 三島慎也		○	
			斐川町商工会 会長	植田 登志雄		×		
			一般社団法人松江観光協会 常務理事	大塚 享義		○		
	一般社団法人松江観光協会美保関町支部 事務局長		安達 修一		○			
一般社団法人出雲観光協会 会長	田邊 達也			×				
農林水産業・ 食品関連分野	島根県農業協同組合 代表理事組合長	石川 寿樹		×				
	漁業協同組合JFしまね 代表理事会長	岸 宏		×				
	株式会社田部 代表取締役社長	田部 長右衛門		×				
	中海漁業協同組合 代表理事組合長	外谷 久人		○				
	宍道湖漁業協同組合 代表理事組合長	渡部 和夫		○				
保全・教育 部会	環境保全・防災 分野	中国電力株式会社 島根支社 常務執行役員島根支社長	天野 浩一		○			
		国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所 所長	小谷 哲也	副所長 山形 浩一		○		
		環境省大山隠岐国立公園管理事務所松江管理官事務所国立公園管理官	原 耕資		○			
	地域活動分野	松江市民館長会代表 島根公民館長	田中 豊		○			
		出雲市コミュニティセンター長会代表 伊野コミュニティセンター長	福田 英治		×			
		Sustainable lab. 代表	召古 裕士		○			
		島根半島四十二浦巡り再発見研究会 事務局長	木幡 育夫		○			
		ウミネコ生態調査専門調査員	濱田 義治		○			
		神社ガールズ研究会 会長	河野 美知		○			
		加賀まるごと博物館 代表	船本 力		○			
		宍道湖魚類研究会 代表	桑原 弘道		○			
		ミュージアム連携分野 (教育分野)	国立大学法人島根大学教育学部自然環境教育専攻 教授	栢野 彰秀		×		
	国立大学法人島根大学大学院教育学研究科 教授		松本 一郎		×			
	国立大学法人島根大学教育学部理科教育専攻 講師		辻本 彰		○			
	松江工業高等専門学校 副校長		高尾 学		×			
	島根県立宍道湖自然館ゴビウス 館長		中畑 勝見		○			
	出雲科学館 館長		鬼村 修治		○			
	モニュメント・ミュージアム来待ストーン 学芸員		古川 寛子		×			
	監事		松江市 会計管理者	大谷 敦夫		○		
		出雲市 会計管理者	三浦 俊明		×			

第1号報告 島根半島・宍道湖中海（国引き）ジオパーク推進協議会 令和5年度事業報告

令和4年度に策定した令和7年度までの4年間の計画期間とする「島根半島・宍道湖中海ジオパーク推進行動計画（マスタープラン、アクションプラン）」にもとづき取り組みを推進し、特に令和3年度に行われた日本ジオパーク再認定審査における指摘事項への対応に注力した。

調査・研究・交流事業として、日本ジオパークネットワーク関係では、千葉県銚子市と埼玉県秩父市で開催された「第13回日本ジオパーク全国大会 in 関東」に参加したほか、通常総会やジオパークによる地域活性化推進議員連盟総会、糸魚川ジオパークでの全国研修会、三好ジオパーク構想での中四国近畿ブロック研修会などに参加した。

毎年開催している隠岐と山陰海岸との3ジオパークによる研修会は、今年度は当ジオパークが担当であったことから、両ジオパークにお越しいただき、松江市・出雲市を巡るジオツアーなどを行った。

また、当地域の主な歴史・文化や生物・生態サイトカード（説明書）をまとめる作業や、パートナーシップ協定の締結に取り組んだ。

広報・宣伝事業は、会報誌を年3回発行するとともに、当ジオパークの視認性を高めるため、松江市美保関町の県道沿いやフェリー乗り場前に新たに看板を設置した。

ジオパークの日イベントは、出雲市大社町の日御碕でのフィールドワークやクルージング、アトネスいずもでの体験学習などに取り組んだ。

普及啓発・教育活動は、小学校高学年とその家族を対象に松江市美保関町片江でカヤック体験ツアーを実施した。

小学校におけるジオパーク授業については、昨年度に原稿を制作した松江市美保関町の千酌海岸用の学習補助資料を印刷し、松江市・出雲市の小学校に配布した。

ジオガイド養成講座やスキルアップ講座、4年間のジオガイド認定期間を更新するための研修も昨年度から継続して取り組んだ。

ジオパーク活動を推進するにあたり、半島振興広域連携促進事業費補助金や島根県自然公園を活用した誘客促進補助金、ジオパークサポーター会費収入などを活用した。

1 管理運営

(1) 新規加入会員

中海漁業協同組合（加入年月日：4月25日）

宍道湖漁業協同組合（加入年月日：5月18日）

(2) 会議開催

1) 令和5年度臨時総会（書面表決）

議決日：8月9日（水）

議決された報告及び議案：

①報告事項

第1号報告 島根半島・宍道湖中海（国引き）ジオパーク推進協議会新規加入会員について

②議案

第1号議案 島根半島・宍道湖中海（国引き）ジオパーク推進協議会令和4年度一般会計決算

2) 専門部会

①学術・研究部会 ※部会長 入月俊明（島根大学） 部会員 11名
第1回：10月31日（火）

②観光・広報部会 ※部会長 稲根克也（出雲観光協会） 部会員 28名
第1回：11月17日（金） 第2回：2月27日（火）

③保全・教育部会 ※部会長 辻本彰（島根大学） 部会員 21名
第1回：10月18日（水） 第2回：2月15日（木）

3) 幹事会 第1回：3月11日（月）

4) 事務局会議

第1回：4月25日（火） 第2回：6月5日（月）

第3回：7月12日（水） 第4回：8月24日（木）

第5回：9月26日（火） 第6回：11月2日（木）

第7回：1月10日（水） 第8回：2月6日（火）

2 調査・研究・交流

(1) JGN（日本ジオパークネットワーク）、JGC（日本ジオパーク委員会）関係

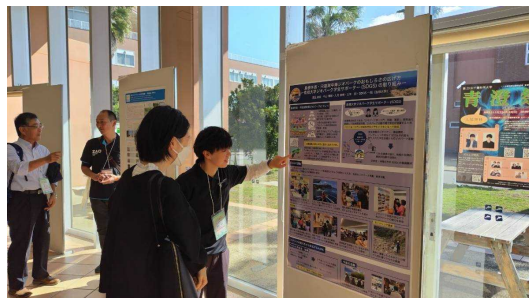
1) 会議・研修会参加状況

日程	内容	会場	参加者
5月20日（土）	JGN 運営会議	千葉県千葉市	野村専門員
5月30日（火）	・JGN 第16回通常総会 ・ジオパークによる地域活性化推進議員連盟第8回総会	東京都	福田・小村事務局員
6月6日（火）～9日（金）	日本ジオパーク委員会主催ジオパーク基礎研修会	オンライン	福田・永田事務局員
10月27日（金）	JGN 運営会議、全地域事務局長会議	千葉県銚子市	野村専門員、今岡事務局次長
10月27日（金）～29日（日）	第13回日本ジオパーク全国大会 in 関東（関東ブロック）	千葉県銚子市 埼玉県秩父市	小林会長代行 他6名
11月9日（木）	JGC オンライン研修会 『世界遺産制度の半世紀より考えるジオパークの将来への備え』	オンライン	福田事務局員、ジオガイド
12月6日（水）	第1回 JGN オンライン研修会 『コンゴの鉱山における児童労働、鉱物資源と紛争～支援の現場からの報告～』	オンライン	福田・永田事務局員
12月8日（金）	JGN 初めて日本ジオパークが認定された日をお祝いしよう～祝15周年～	オンライン	福田事務局員

12月15日(金)	JGC 2023 年度審査基準検討会議	オンライン	福田・永田事務局員
1月11日(木)	JGN 防災WGによる能登半島地震の現象・被害の概要オンライン説明会	オンライン	福田事務局員、ジオガイド
1月16日(火)	JGN 地球時間の旅展第3回研修会「気候変動を伝える」	オンライン	福田事務局員
1月22日(月)	第2回 JGN オンライン研修会『訪日外国人旅行者に我が地域を見つけて楽しんでいただくための一工夫』	オンライン	永田事務局員
2月7日(水)～9日(金)	JGN第18回日本ジオパークネットワーク全国研修会 in 糸魚川	新潟県糸魚川市	召古ジオガイド
2月13日(火)～14日(水)	中四国近畿ブロック研修会(三好ジオパーク構想主催)	徳島県三好市	渡邊・岡ジオガイド 永田事務局員
2月15日(木)	第3回 JGN オンライン研修会『中東、アジア、ヨーロッパの事例からジオパークの役割(できること)を考える』	オンライン	福田事務局員



JGN 通常総会での古川理事長(島原半島ジオパーク協議会長)挨拶



日本ジオパーク全国大会での島根大学生によるポスター発表

2) JGN 主催事業 日本ジオパーク周遊企画アプリ「ジオパークな旅」アプリの配信

全国に46あるジオパークに「周遊地点」が登録され、訪問しSNSに投稿することで証明書やプレゼントを得られるキャンペーンが開催され、7月24日にアプリが配信された。(3年間の配信予定)

当ジオパークは、ビジターセンターやジオサイト10地点を登録している。



3) 「苗場山麓ジオパーク振興協議会便り」への寄稿

苗場山麓ジオパーク発行の町民、村民向けの広報誌「苗場山麓ジオパーク振興協議会便り」(隔月発行)の『突撃しよう!隣のジオパ便り～〇〇ジオパークからこんにちは～』コーナーへ寄稿した。

4) GEOPARK magazine2023 Vol.11 への記事掲載

掲載内容: ①ジオガイド紹介(山本陽子ジオガイド)

②畑ほし柿紹介

③読者プレゼント提供(ジオブランド商品詰め合わせ)

(2) 3 ジオパーク（隠岐、山陰海岸、島根半島・宍道湖中海）連携事業

1) 合同研修会

今年度の3 ジオパーク合同研修会は当ジオパークが担当になっており、隠岐や山陰海岸ジオパークの事務局スタッフやジオガイドをお招きし、研修会とジオツアーを開催した。

日 程：11月21日（火）～22日（水）

会 場：マリンパーク多古鼻（松江市島根町）

参加者数：31名

内 容：■ 11月21日（火）

- ・講演会「ジオパークにおける持続可能な地質物品の収集や取引」
- ・講 師 藤原専門員（山陰海岸ジオパーク）
- ・意見交換会

■ 11月22日（水）

- ・ジオツアー2 コース

①松江コース 桂島、松江ビジターセンター、竜溪洞、由志園

②出雲コース 日御碕（ビジターセンター、灯台、神社）



講演会



松江ツアー



出雲ツアー

2) BSS ラジオ「中四国ライブネット」出演

今年度で4年目の取組であり、隠岐、山陰海岸ジオパークと合同でジオパークの魅力をラジオで中四国エリアに発信した。

会 場：BSS 本社（米子市）

日 時：3月3日（日）18:00～20:00

出演者：前田みのりジオガイド、朝倉利明ジオガイド

内 容：島根半島・宍道湖中海ジオパークの紹介

出雲エリアのみどころ、自然、歴史・文化について

(3) 歴史・文化及び生物・生態サイトカードの作成

当地域の主な有形・無形文化財や生物・生態をサイトカード（説明書）としてまとめており、特に歴史・文化サイトカードに関しては学術・研究部会員の皆様に候補の選定を依頼しているところである。

(4) パートナーシップ協定締結

相互に役割分担を明確にしてジオパーク活動を推進するため、今年度は8団体とパートナーシップ協定を締結し、累計11団体と締結している。

【令和4年度】※カッコ内は協定締結日

- ①国立大学法人島根大学 (9月2日)
- ②加賀まるごと博物館 (2月20日)
- ③一般社団法人出雲観光協会 (3月27日)

【令和5年度】

- ①ミサキどっと Come (9月28日)
- ②一般社団法人加賀潜戸遊覧船 (9月29日)
- ③神社ガールズ研究会 (10月6日)
- ④出雲国ジオガイドの会 (11月9日)
- ⑤海の楽校 (11月30日)
- ⑥出雲ターミナル株式会社 (12月12日)
- ⑦小泉八雲記念館 (3月14日)
- ⑧公立大学法人島根県立大学 (3月14日)



3/14 県立大学、小泉八雲記念館との協定締結式

(5) 法政大学 2023年度「地方共創プログラム～地方に学び、自分を知る～」現地フィールドワーク

法政大学は企業・地方自治体・地域社会と連携した教育カリキュラムの開発・実施を行っており、地方自治体から提示されたテーマに対して大学生がフィールドワークを行い、地域活性化の貢献に繋がる実現可能なプランを企画・提案するプログラムを組んでいる。松江市と法政大学の連携・協力協定にもとづき、松江市を対象地域として開催され、「ジオパークを活用した持続可能な社会の実現とSDGs推進」をテーマの一つとした。

学生たちはグループに分かれ、テーマに沿って事前の文献調査を実施の上、現地フィールドワーク、地元企業へのオンラインインタビュー等を行い、最終発表会でプランが提案された。現地フィールドワークでは、島根大学ジオパーク学生サポーター (SDGS) が同行し、発表に向けた支援を行った。

■スケジュール

- | | |
|------------------|--------------------|
| 6月10日 (土) | ガイダンス・キックオフワークショップ |
| 8月9日 (水)～11日 (金) | 松江市での現地フィールドワーク |
| 10月2日 (月) | 中間発表会 |
| 12月9日 (土) | 最終発表会 |



フィールドワーク(宍道湖魚類研究会)



フィールドワーク(認定NPO法人自然再生センター)



フィールドワーク(海の楽校)

(6) 来待石灯ろう協同組合との情報交換会について

令和3年度日本ジオパーク再認定審査で、中長期的に解決すべき事項として「来待石

の資源管理、技術継承、販売に関してモニュメント・ミュージアム来待ストーン関係者や石材業者らと意見交換し、ジオパークにふさわしいあり方を検討してほしい」と提示されていることから、来待石灯ろう協同組合と来待石の採石量や販売量などについて情報交換を行った。

日時：10月4日（水）14:00～14:30

会場：来待石灯ろう協同組合事務所（来待ストーン来待石工房内）

出席者：来待石灯ろう協同組合 伊藤理事長、古川学芸員

今岡事務局次長、福田事務局員、永田事務局員

(7) ジオサイトのモニタリング

松江市・出雲市のジオサイト10ヶ所におけるモニタリングを出雲国ジオガイドの会の協力を得て実施し、1月12日にはモニタリング報告会を開催した。

【モニタリング実施場所】

	ジオサイト	エリア	市域	区分
1	桂島	島根半島	松江	令和4年度 から継続
2	法田海岸	島根半島	松江	
3	出雲平野・斐伊川	出雲平野・宍道湖・中 海低地帯	出雲	
4	立久恵峡	南部丘陵地	出雲	
5	千酌海岸の波食棚	島根半島	松江	令和5年度 新規
6	須々海海岸の洗濯岩	島根半島	松江	
7	小伊津・十六島の砂泥互層	島根半島	出雲	
8	赤浦海岸	島根半島	出雲	
9	宍道湖	出雲平野・宍道湖・中 海低地帯	松江	
10	小田海岸の貝化石	南部丘陵地	出雲	

(8) 須々海海岸安全マップの作成

アクションプラン重点取組として「地質・地形サイトとそこへ至るツアールートにおける安全対策の明文化とそれの徹底」を掲げており、小学校がジオパーク授業で訪問する須々海海岸（松江市島根町）は急斜面などがあるため、安全対策として地図に動画での解説を掲載した『須々海海岸安全マップ』を作成した。



(9) 「手結のスランプ褶曲」の松江市文化財（天然記念物）への指定

ジオサイトに指定している「手結のスランプ褶曲」について、令和6年度に松江市文化財（天然記念物）に指定するため、準備を進めている。



手結のスランプ褶曲

3 広報・宣伝事業

(1) 島根半島・宍道湖中海ジオパークブランディング戦略の策定

本戦略の策定に向け、ジオパーク観光・広報部会での審議や、ジオパーク推進協議会会員やジオガイドからの意見集約を行い、ジオパーク推進協議会令和5年度定例総会で本戦略を決定予定である。

- ・11月17日（金）観光・広報部会（素案の審議）
- ・11～12月 ジオパーク推進協議会会員、ジオガイドへの文書での意見聴取
- ・2月27日（火）観光・広報部会（意見を踏まえた修正案の確認）
- ・3月27日（水）ジオパーク推進協議会令和5年度定例総会で決定予定

(2) 看板整備

1) 島根町沖泊における観光公害への対応のための看板設置

松江市島根町沖泊区長から連絡があり、当ジオパークが認定されて以降、多古の石柱や板状節理がある沖泊海岸を訪れる観光客が増え、公の駐車場でない場所への違法駐車や、行き止まりとなっている沖泊海岸への自家用車での乗り入れで、大変迷惑を被っていると苦情が寄せられた。

沖泊区長から消防倉庫の壁面に「この先行き止まり」という看板を設置してほしいという要望があったことから、観光公害への対応として注意喚起の看板を設置した。



島根町沖泊に設置した注意喚起看板

2) ジオパークエリアに入ったことがわかる視認性向上のための看板設置 (2枚)



松江市美保関町七類フェリー乗り場前



松江市美保関町福浦県道沿い

(3) スポーツイベントへの協賛

当地域で開催されたスポーツイベントで協賛広告を掲出した。

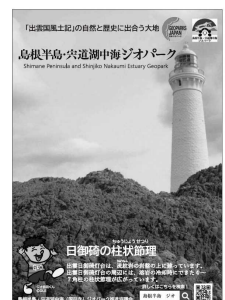
①2023 第29回えびす・だいこく100kmマラソン

日程：令和5年5月28日（日）

②2024 第41回出雲くにびきマラソン大会

日程：令和6年3月3日（日）

くにびきマラソン
協賛広告



(4) 島根半島・宍道湖中海ジオパークポロシャツの販売

販売価格：1,600円（税込）

販売数：592着（前年比54着減）

令和5年度新色
アーミーグリーン



(5) 島根半島・宍道湖中海ジオパーク通信（会報誌）の発行

当ジオパークの貴重な地質遺産や活動、活躍されている皆様、アクティビティなどを紹介する会報誌を昨年度から継続して3号発行した。

発行月：Vol.5（7月号）、Vol.6（11月号）、Vol.7（2月号）

印刷部数：各号3,000部



(6) 科学の祭典2023「科学の縁結び祭り」

日時：7月29日（土）・30日（日）

場所：出雲科学館

内容：ブース「トキとジオパーク」

実習室において、タペストリーの展示、島根半島・宍道湖中海ジオパークの紹介動画の放映、松江ビジターセンターの理科実験装置を用いた簡易的な理科実験及びサザエの殻積み体験を実施した。

参加者：2名（加村・小村事務局員）

※両日とも採用2年目の教諭2名がフォローアップ研修の一環として参加。

30日には、大社中学校科学部の生徒2名も補助スタッフとして参加。

来場者：29日（土）70名、30日（日）96名 計166名

(7) 「ジオパークの日」記念イベント

ジオパークの日を記念したイベントを2日間にわたり出雲会場と松江会場で開催した。

1) 出雲会場

日時：8月19日（土）10:00～16:00

場所：日御碕・アトネスいずも

内容：①フィールドワークコース 参加者数11名

「オープントップバスで行く！ジオサイト探検ツアーin日御碕」

②クルージングコース 参加者数25名

「オープントップバスで行く！ジオクルージングツアーin日御碕」

③体験学習コース 参加者数35名

講座1「わくわく理科実験教室」

講座2「本物の化石を発掘してみよう！」

その他 サザエの殻積み記録会、ジオパーク関連展示等

運営協力：島根大学ジオパーク学生サポーター（SDGS）



オープントップバスでの移動



ジオクルージング



缶バッジづくり

2) 松江会場

日時：8月20日（日）9：30～15：30

場所：松江ビジターセンター

来場者数：89名

内容：①桂島謎解きラリー 参加者数4名
②ジオパーク缶バッジづくり 参加者数26名
③イベント限定ジオカード配布

(8) 市報松江へのジオパーク記事の掲載

2名のジオガイドに、島根半島・宍道湖中海ジオパークの紹介や活動についての記事を寄稿いただいた。

11月号：（「まちをよくするマイルポート」コーナー）河野美知ジオガイド

12月号：（「松江の文化力×未来」コーナー）松原慶子ジオガイド

(9) 県政ラジオ番組「今ね！しまね推し♪」

島根県から市町に対してラジオ出演によるPRについて募集があり、松江市で応募したところ採用となった。

放送日時：12月8日（金）10：05～10：15頃

放送局：BSS ラジオ

内容：島根半島・宍道湖中海ジオパークの魅力

出演者：松原慶子ジオガイド

(10) ビジターセンター来場者数（令和5年4月～令和6年2月末）

①松江ビジターセンター 5,095名（前年度同期間比 840名増）

②日御碕ビジターセンター 19,973名（前年度同期間比 3,741名増）

(11) パンフレット設置等の情報発信コーナー設置箇所

松江市：松江ビジターセンター、松江市役所、松江市市民活動センター、
JR 松江駅松江国際観光案内所、七類港フェリーのりば

出雲市：日御碕ビジターセンター、出雲市役所、出雲科学館、アトネスいずも、
JR 出雲市駅観光案内所、出雲縁結び空港

4 普及啓発・教育活動

(1) 島根半島・宍道湖中海ジオパーク保全管理計画の策定

本計画の策定に向け、ジオパーク保全・教育部会での審議や、ジオパーク推進協議会会員やジオガイドからの意見集約を行い、ジオパーク推進協議会令和5年度定例総会で本計画を決定予定である。

- ・10月18日（水）保全・教育部会（素案の審議）
- ・11～12月 ジオパーク推進協議会会員、ジオガイドへの文書での意見聴取
- ・2月15日（木）保全・教育部会（意見を踏まえた修正案の確認）
- ・3月27日（水）ジオパーク推進協議会令和5年度定例総会で決定予定

(2) 島根半島・宍道湖中海ジオパークサポーター「ジオサポ！」加入状況

会費：個人 一口1,000円

企業・団体 一口10,000円

個人会員数（2月末時点） 435名（前年比：36名増）

企業会員数（2月末時点） 5社（前年比：増減なし）

(3) 松江市美保関町千酌海岸用のジオパーク学習補助資料（副読本）の印刷

教員用ワークブック：160部印刷し、松江市・出雲市小学校に各2部配布した。

児童用ワークシート：1,000部印刷し、希望する学校に配布している。



(4) 出雲市議会ジオパーク推進協議会現地視察

日程：7月20日（木）

場所：立久恵峡、須佐神社、八雲風穴

- 参加者：①ジオパーク推進協議会 10名
②議会事務局 2名
③加村・小村事務局員
④出雲国ジオガイドの会 渡邊副会長

(5) ジオパーク探検隊～カヤック体験ツアー～の開催

小学校高学年を対象として、ジオパークや国立公園の海や山といった自然を満喫できるカヤック体験ツアーを松江市美保関町片江で開催した。

日程：9月2日（土）、3日（日）

会場：ゲストハウスかたゑ庵（松江市美保関町）

参加者数：8組23名



カヤックで片江湾へ



洞穴に入る様子



参加者でバーベキュー

(6) 地域住民向け自然災害対策に特化した教育プログラムの制作

自然災害発生メカニズムや過去の災害事例などを通じて、地域住民などの防災・減災に対する意識を高めるための教育プログラムを制作した。「土砂災害」、「火山災害」、「地震災害」、「洪水災害」ごとにパワーポイントを作成し、解説したものを動画コンテンツにまとめた。

本プログラムにもとづくジオガイドなどによる教育活動を通じて、防災・減災対策に役立てるものとする。また、防災教育フィールドワークなどを観光客にも案内することで、観光誘客促進につなげていくものとする。

(7) 島根半島・宍道湖中海ジオパークガイド養成、スキルアップ関係

1) 養成講座、認定試験

①島根半島・宍道湖中海ジオパークガイド養成初級講座（はじめの一步コース）

申込者数：29名

受講方法：会場受講、録画動画視聴のいずれか

修了者数（すべての講座を受講）：15名

	日時	会場	内容	講師	参加者数
第1回	8月5日(土) 10:00～11:30	伊波野(い わの)コミュ ニティセン ター	島根半島・宍道 湖中海ジオパー クとは?	島根大学学術研究院 環境システム科学系 入月俊明教授	会場 9 動画 8
第2回	8月5日(土) 12:30～14:00		島根半島・宍道 湖中海ジオパー クの植物	島根県立三瓶自然館 サヒメル 井上雅仁学芸員	会場 9 動画 8
第3回	8月27日(日) 13:00～16:00	松江ビジ ターセンタ ー	フィールドワーク (桂島)	島根大学学術研究院 環境システム科学系 大平寛人准教授	会場 19
第4回	9月9日(土) 13:00～16:00	日御碕ビジ ターセンタ ー	フィールドワーク (日御碕)	島根大学教育学部理 科教育専攻 辻本彰講師 島根県技術士会 大嶋辰也氏	会場 25
第5回	9月16日(土) 10:00～11:30	松江市市民 活動センタ ー	ジオパークの理 念と保護保全	島根大学大学院教育 学研究科教育実践開 発専攻 松本一郎教授	会場 10 動画 5
第6回	9月16日(土) 12:30～14:00		国引き神話と文 化サイト	島根大学総合博物館 会下和宏副館長	会場 10 動画 5



伊波野コミュニティセンターでの講座



桂島でのフィールドワーク

②島根半島・宍道湖中海ジオパークガイド養成上級講座（認定ガイドコース）

申込者数：9名

受講方法：会場受講、録画動画視聴のいずれか

修了者数（すべての座学とフィールドワーク1回受講）：9名

	日程	会場	内容	講師	参加者数
第1回	12月9日(土) 10:00～15:00	旅伏山、小伊津、唯浦	フィールドワーク	ジオガイド	会場6
第2回	12月10日(日) 10:00～15:00	美保関、竜溪洞	フィールドワーク	ジオガイド	会場6
第3回	—	—	ユネスコ世界ジオパーク概説	(動画視聴)	
第4回	1月20日(土) 10:30～16:00	松江市市民活動センター	ガイドで役立つ地形・地質・岩石の基本	島根大学教授 入月俊明氏	会場7 動画2
			ジオガイドの心構えと手法について ※ジオガイドも一緒に受講した	日本ジオツーリズム協会会長 福島大輔氏	会場9
第5回	1月27日(土) 10:30～14:30	伊波野コミュニティセンター	島根半島・宍道湖中海ジオパークの動植物	島根大学非常勤講師 佐藤仁志氏	会場7 動画2
			国立公園・自然保護について	環境省松江管理官事務所 原耕資氏	会場7 動画2



旅伏山でのフィールドワーク



松江市市民活動センターでの講座

③島根半島・宍道湖中海ジオパークガイド認定試験

受験対象者：ジオガイド養成講座「はじめの一步コース」及び「認定ガイドコース」修了者で普通救命講習を修了している方

日時・会場：2月11日(日) 松江市市民活動センター505・506研修室

2月12日(月・祝) 伊波野コミュニティセンター

《午前》筆記試験(90分)

《午後》模擬ジオガイド発表(1名10分発表、5分質疑)

受験者数：8名(合格者数：8名)

試験官：筆記試験…ジオパーク推進協議会事務局

模擬ガイド発表…辻本保全・教育部会長、
ジオガイド、ジオパーク
推進協議会事務局の3名



2) スキルアップ研修

日時：1月20日（土）13：00～16：00
 会場：松江市市民活動センター501・502 研修室
 内容：ジオガイドの心構えと手法について
 講師：日本ジオツーリズム協会 福島大輔会長
 参加者：ジオガイド10名



※ジオガイド養成講座受講者と一緒に受講した。

3) 認定更新研修

令和6年3月末で4年間のジオガイド認定期間が満了する方の研修。更新に対する本人の意思確認と研修受講により更新した。

更新対象者：9名（認定期間 令和2年4月1日～令和6年3月31日）
 更新者：8名（更新後の認定期間 令和6年4月1日～令和10年3月31日）
 日時：2月3日（土）10：30～16：30
 会場：松江市役所第1常任委員会室

内容：①講演1 島根半島・宍道湖中海ジオパークの歴史・文化
 講師：出雲国ジオガイドの会 事務局長 三代隆司 氏
 ②講演2 島根半島・宍道湖中海ジオパークの地質・地形
 講師：島根半島・宍道湖中海ジオパーク専門員 野村律夫 氏
 ③講演3 ユネスコ世界ジオパークの理念や活動状況
 講師：高知大学教育研究部人文社会科学系人文社会科学部門
 講師 新名 阿津子 氏



※新名氏の研修は、ジオガイド認定更新研修の受講者だけでなく、ジオパーク推進協議会会員4名も参加した。
 ※研修会終了後に、新名氏とジオパーク推進協議会事務局で、当ジオパーク再認定審査後の取組状況報告や意見交換会を行った。

4) ジオガイド認定者数：63名（令和6年4月1日時点、前年同月比+6名）

(8) 島根半島・宍道湖中海ジオパーク学術研究奨励事業補助金

島根半島・宍道湖中海ジオパークにかかわる調査研究に対して補助金を交付した。

・交付決定した件数：4件（前年度比2件増） ・補助金合計：390,385円

	団体名・個人名	事業内容	交付額
1	鎮西学院大学 教授 山口弘幸	①ユニバーサルデザイン・ジオツアーコースの設定とチラシ案作成 ②松江バリアフリーツアーセンターと連携した実地調査とプロモーション ③主要なジオサイトのユニバーサルデザインの観点からの点検	100,000円
2	島根県立大学 松江キャンパス 民俗学研究室 中野洋平	宍道湖・中海周辺の集落における村堂の民俗を明らかにすることにより、島根半島・宍道湖中海ジオパークの歴史・文化、特に仏教文化に関する理解を深める。	100,000円

3	海食洞調査チーム 事務局長 山西 敏光	地下に隠れている洞窟を測量という方法で可視化、そしてそのデータを許に洞窟記載から洞窟成因を調べる。 地元の海に詳しいシーカヤックガイドでジオパークガイドの方々の協力を得て、海食洞の海上測量方法を確立させる。	100,000 円
4	独立行政法人国立高等専門学校機構 松江工業高等専門学校 校長 和田 清	島根半島・宍道湖中海地域における史料(聞き取りを含む)から読み取れる産業構造、そして産業の発展により建てられる建築物による景観の特徴について明らかにする。	90,385 円
			390,385 円

(9) 普及啓発事業等補助金

住民団体、自治体、NPO 等が行う島根半島・宍道湖中海ジオパークの普及啓発活動に対して補助金を交付した。

・ 交付決定した団体：11 団体（前年度比 1 団体減） ・ 補助金合計：1,066,878 円

	団体名	事業内容	交付額
1	出雲国ジオガイド会	第 39 回地域づくり団体全国研修交流会島根大会分科会でのジオパークツアーの開催	99,800 円
2	千酌区自治会	千酌海岸清掃事業	100,000 円
3	Do the Sea	中海ジオパーク SUP de Clean Up!	100,000 円
4	加賀まるごと博物館	加賀湾内ジオサイト周辺の環境美化活動	76,596 円
5	高浜地区自治協会	「天平古道」案内パンフレット作製	100,000 円
6	株式会社伊勢宮界限元気プロジェクト	海のジオパークモデル地区としての片江の可能性発見!	100,000 円
7	島根半島四十二浦巡り再発見研究会	島根半島の歴史文化再発見講演会開催事業	100,000 円
8	鹿島 shi 結女	「地域の魅力&イベントを伝える」情報紙発行事業	90,482 円
9	肉肉椎茸	島根半四十二浦 3 days 逆打ち	100,000 円
10	佐香コミュニティセンター	「佐香のジオ紹介パンフレット」作製事業	100,000 円
11	株式会社ちいきおこし	ジオブランド新商品開発	100,000 円
			1,066,878 円

(10) 学校におけるジオパーク授業バス借上料補助金

松江市及び出雲市管内の学校におけるジオパーク授業への活動支援としてバス借上料を補助した。

・ 交付決定した学校：27 校（前年度比 7 校増） ・ 補助金合計：3,443,690 円

区分	No.	学校名	交付額
松江市 21 校	1	津田小学校	206,800 円
	2	竹矢小学校	188,100 円
	3	中央小学校	248,600 円
	4	意東小学校	73,700 円
	5	朝酌小学校	60,500 円
	6	義務教育学校八束学園	133,650 円
	7	出雲郷小学校	250,000 円
	8	宍道小学校	165,000 円
	9	佐太小学校	96,800 円
	10	川津小学校	132,000 円

	11	法吉小学校	118,800 円
	12	島根大学教育学部附属義務教育学校	213,400 円
	13	恵曇小学校	82,500 円
	14	持田小学校	51,700 円
	15	忌部小学校	111,100 円
	16	大庭小学校	118,800 円
	17	雑賀小学校	106,150 円
	18	八雲小学校	169,400 円
	19	内中原小学校	132,990 円
	20	乃木小学校	214,500 円
	21	古志原小学校	240,900 円
出雲市 6校	22	伊野小学校	39,600 円
	23	大社小学校	45,100 円
	24	須佐小学校	60,500 円
	25	西田小学校	17,000 円
	26	神戸川小学校	115,500 円
	27	稗原小学校	50,600 円
			3,443,690 円

(1 1) 出前講座、講師派遣など

1) 松江市地域おこし協力隊へのジオパークの説明

令和5年度に新たに任命された松江市地域おこし協力隊2名にジオパークの説明や意見交換を行った。

日時：5月9日（火）13：00～14：30

会場：松江市役所

対応者：今岡事務局次長、福田事務局員

2) 島根県測量設計業協会令和5年度地質見学会

日程：6月23日（金）

会場：出雲市佐田町須佐地域

講師：野村専門員、(株)シマダ技術コンサルタント

参加者数：15名

3) 全国街道交流会議第13回全国大会「山陰大会」観光文化事業

小泉八雲ゆかりの地で学ぶバスツアーSDGsバスツアー

主催：中海・宍道湖・大山圏域市長会

日時：7月23日（日）

内容：日御碕周辺でのジオパーク学習（クルージング、ガイド等）

参加者数：小学校4～6年生とその保護者 11組23名

講師：渡邊一枝ジオガイド、松原慶子ジオガイド

4) 令和5年度松江観光タクシー研究会研修会

令和3年度にジオパークをテーマに研修いただく予定にしていたが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止したため、今年度改めて実施した。

主催：松江観光タクシー研究会（事務局：（一社）松江観光協会）

日程：8月23日（水）、24日（木）、25日（金）10:20～12:20

内容：潜戸遊覧船乗船、松江ビジターセンターでの研修

参加者数：19名（内訳 23日3名、24日4名、25日12名）

5) 東京大学体験活動プログラムへの協力について

中海・宍道湖・大山圏域市長会で標記プログラムに参加し、当地での東京大学学生の体験学習を実施されることになり、学生3名に対して島根半島・宍道湖中海ジオパークについての説明を行った。

日程：8月24日（木）

場所：松江ビジターセンター

説明者：松原慶子ジオガイド

6) まつえ市民大学ふるさと環境コース

日時：9月5日（土）、12日（火）8:30～15:30

会場：大社・日御碕

内容：日本海形成期の大地をめぐる ー大社・日御碕ー

講師：野村専門員

参加者数：5日12名、12日18名

7) 早稲田大学自然地理学ゼミ巡検

日本ジオパーク委員会委員である早稲田大学教育学部地理学担当の久保純子教授から野村専門員が依頼を受け、巡検コースへの助言などを行い、18日は同行した。

日程：9月18日（月・祝）～20日（水）

参加者数：15名

巡検コース：

【9月18日（月）】

松江ジオパークビジターセンター、潜戸遊覧船 → 出雲大社・歴史博物館・稲佐の浜（・浜山砂丘） → 出雲平野の築地松 → 斐伊川網状流路・河口 → 宍道湖自然館ゴビウス

【9月19日（火）】

斐伊川網状流路、新川（天井川）、西谷墳墓群 → 斐伊川放水路記念館、斐伊川放水路分流堰見学 → 尾原ダム見学 → 菅谷たたら、鉄の歴史博物館見学（吉田で食料買い出し） → 三瓶山

【9月20日（水）】

三瓶自然館サヒメル → 三瓶縄文の森ミュージアム、三瓶火山テフラの露頭 → 石見银山 → 広島県

8) 小学校が実施するジオパーク課外授業の支援

小学校が実施するジオパーク課外授業に野村専門員を派遣した。

①9月21日（木）津田小学校

②9月25日（月）乃木小学校

③9月26日（火）乃木小学校

④9月27日（水）大津小学校

- ⑤9月28日(木) 恵曇・持田小学校 ⑥9月29日(金) 津田小学校
 ⑦10月10日(火) 竹矢小学校 ⑧10月12日(木) 竹矢小学校
 ⑨11月9日(木) 中央小学校

※島根大学の先生も支援されており、詳細はP21, 22 参照

9) 令和5年度松江市新規採用職員後期研修について

国際文化観光都市である松江市のもつ魅力を十分に理解し、「伝える」を担える職員をめざすことを目的にしており、そのカリキュラムの一つとして、ジオパークに関する研修を行った。

日時：10月12日(木) 10:50~11:20

会場：興雲閣大ホール

参加者数：79名

講師：永田事務局員

10) 令和5年度第4回山陰海岸ジオパークサイエンスカフェ

日時：11月11日(土) 13:30~15:30

会場：公立鳥取環境大学 学生センター2階 多目的ホール

参加者数：30名

講師：野村専門員

講演テーマ：出雲国風土記にみる自然観-島根半島を知ってジオパークを学ぼう！-

5 関係団体の活動報告

(1) 島根大学

島根大学じげおこしプロジェクト「島根半島・宍道湖中海ジオパークの活動推進事業」に参加するメンバーおよび島根大学の戦略的機能強化推進経費「SDGs 意識の醸成に向けた新ジオパーク学プログラムと学生組織(SDGS)の構築」の申請メンバーが中心となりジオパークに関する活動を行なった。

じげおこしプロジェクト「島根半島・宍道湖中海ジオパークの活動推進事業」のメンバーは以下のものである。*は戦略的機能強化推進経費申請メンバー

入月俊明* (代表者)	総合理工学部 (教授)	推進協議会への参加・依頼活動・研究活動 (ジオ分野)
辻本 彰*	教育学部 (講師)	推進協議会への参加・依頼活動・研究活動 (ジオ分野)
大平寛人*	総合理工学部 (准教授)	推進協議会の依頼活動・研究活動 (ジオ分野)
林 広樹*	総合理工学部 (教授)	研究活動による学術的側面の強化 (ジオ分野)
酒井哲弥*	総合理工学部 (教授)	研究活動による学術的側面の強化 (ジオ分野)
向吉秀樹*	総合理工学部 (准教授)	研究活動による学術的側面の強化 (ジオ分野)
瀬戸浩二*	エスチュアリー (准教授)	研究活動による学術的側面の強化 (エコ分野)
齋藤文紀	エスチュアリー (教授)	研究活動による学術的側面の強化 (エコ分野)
香月興太	エスチュアリー (講師)	研究活動による学術的側面の強化 (エコ分野)
広橋教貴	生物資源 (教授)	研究活動による学術的側面の強化 (エコ分野)
山口啓子*	生物資源 (教授)	研究活動による学術的側面の強化 (エコ分野)
久保満佐子	生物資源 (准教授)	研究活動による学術的側面の強化 (エコ分野)
大谷修司*	教育学部 (教授)	研究活動による学術的側面の強化 (エコ分野)

会下和宏*	総合博物館（教授）	推進協議会への参加・依頼活動・研究活動（ヒト分野）
飯野公央*	法文学部（准教授）	研究活動による学術的側面の強化（ヒト分野）
鶴永陽子*	人間科学部（教授）	研究活動による学術的側面の強化（ヒト分野）
松本一郎*	教育学部（教授）	推進協議会への参加・依頼活動・研究活動（ヒト分野）
栢野彰秀	教育学部（教授）	推進協議会への参加・依頼活動・研究活動（ヒト分野）

大学としての成果(主に教育・研究活動等)

1. 島根大学でのジオパーク学

SDGs の内容を取り入れた講義と演習を以下のように行なった。（*は学外非常勤講師）

1) ジオパーク学入門：前期 14 回、2 単位（オムニバス）、全学年、履修登録者 267 名

- ①4月10日 ガイダンス（入月俊明）
- ②4月17日 ジオパークの目的・背景（辻本 彰）
- ③4月24日 ジオパークと SDGs（松本一郎）
- ④5月1日 日本のジオパーク（大平寛人）
- ⑤5月8日 山陰のジオサイト・ジオパーク（林 広樹）
- ⑥5月15日 汽水域の自然環境の変遷（瀬戸浩二）
- ⑦5月22日 島根の海と生き物（山口啓子）
- ⑧5月29日 宍道湖・中海の自然と生態系（國井秀伸*）
- ⑨6月5日 島根の食文化と風土（鶴永陽子）
- ⑩6月12日 伝統産業と風土（大庭卓也*）
- ⑪6月19日 文学に見るジオの風景（小泉 凡*）
- ⑫6月26日 出雲の風土と伝承（品川知彦*）
- ⑬7月3日 古代遺産（遺跡）と風土（會下和宏）
- ⑭7月10日 ジオパークと地域振興・観光（野邊一寛*）

2) ジオパーク学各論：後期 14 回、2 単位（オムニバス）、ジオパーク学入門単位習得者、履修登録者 90 名

- ①10月2日 ガイダンスと出雲地域の特徴とは（入月俊明）
- ②10月16日 出雲地方のジオサイト：島根半島とその周辺（酒井哲弥）
- ③10月23日 出雲地方のジオサイト：中国山地とその周辺（辻本 彰）
- ④10月30日 出雲地方の鉱産物資源と利用（大平寛人）
- ⑤11月6日 出雲地方とその周辺域の第四紀の古環境（齋藤文紀）
- ⑥11月13日 宍道湖・中海の動植物の特徴（國井秀伸*）
- ⑦11月20日 出雲地方の動物群の特徴（佐藤仁志*）
- ⑧11月27日 出雲地方の陸域植物の特徴（大谷修司）
- ⑨12月4日 出雲地方の自然災害（向吉秀樹）
- ⑩12月11日 出雲地方の古代遺産（遺跡）と風土（會下和宏）
- ⑪12月18日 ジオパークと出雲風土記（平石 充*）
- ⑫12月25日 ジオパークと教育（松本一郎）
- ⑬1月15日 ジオパークと経済（飯野公央）
- ⑭1月22日 ジオパークと地域振興・観光（召古裕士*）

- 3) ジオパーク学演習：前期集中実習2単位、ジオパーク学各論単位習得者、履修登録者25名
 - ①ガイダンス
 - ②島根半島宍道湖中海ジオパークについて（講義）
 - ③加賀桂島ジオサイトの事前学習
 - ④～⑥野外実習（1）：加賀桂島ジオサイトとビジターセンター
 - ⑦野外実習（1）の事後学習
 - ⑧ジオパークとSDGs
 - ⑨～⑫ 体験活動その（1）：小波海岸におけるジオパーク活動への参加
体験活動その（2）：美保関ジオサイトめぐり
体験活動その（3）：玉造温泉とめのう
体験活動その（4）：自己プロデュースによるジオサイトめぐり
 - ⑬ジオパークを活用したSDGs活動の提案
 - ⑭みなさんの企画の相互評価
- 4) 特別副専攻プログラムのジオパーク学プログラム2023年度修了者（予定）：11名

2. 学生組織の活動

ジオパーク活動を支える学生組織の島根大学ジオパーク学生サポーター（SDGS）（大学院生4名と学部生5名）は今年度以下のような活動のサポートを行なった。

- 1) 松江市小波海岸における自然体験事業「海の楽校」の補助スタッフ、令和5年3月～5月
- 2) ジオパークの日を記念した出雲市での活動「オープントップバスで行く！日御碕ジオパークツアー」の補助（クルージング、フィールドワーク、理科体験学習）、8月19日
- 3) 法政大学地方共創プログラムへの参加、8月9日～11日
- 4) 環境モニタリング調査（出雲市三津町）、2023年9月から毎月
- 5) 第13回日本ジオパーク全国大会 in 関東への参加とポスター発表、10月28-29日
- 6) GN オンラインジャーナル「ジオパークと地域資源」の原稿執筆（投稿中）、12月

3. 一般向け講座・講演など

● メンバー個人

- 1) 入月俊明、島根半島・宍道湖中海ジオパーク推進協議会主催の2023年度ジオガイド養成講座「はじめの一步コース、島根半島・宍道湖中海ジオパークとは？」の講師、8月5日、伊波野コミュニティセンター、対象：市民一般
- 2) 入月俊明、島根大学山陰研究プロジェクト主催のシンポジウム「観光の新たなデザイン-未来を創る地域の魅力」での講演、12月16日、タイトル：島根半島・宍道湖中海ジオパークの紹介と活用、島根大学、対象：市民一般
- 3) 入月俊明、島根半島・宍道湖中海ジオパーク推進協議会主催の2023年度ガイド養成上級講座「認定ガイドコース、ガイドで役立つ地形・地質・岩石の基本」の講師、1月20日、松江市市民活動センター、対象：はじめの一步コース修了者
- 4) 入月俊明、島根半島・宍道湖中海ジオパーク推進協議会主催の認定ガイド試験の問題

作成

- 5) 辻本 彰、島根半島・宍道湖中海ジオパーク推進協議会主催の2023年度ジオガイド養成講座「はじめの一步コース、フィールドワーク（日御碕）」の講師、9月9日、日御碕ビジターセンター、対象：市民一般
- 6) 辻本 彰、島根半島・宍道湖中海ジオパーク推進協議会主催の認定ガイド試験の審査員、2月11-12日、松江市市民活動センター・伊波野コミュニティセンター、対象：ガイド養成講座修得者
- 7) 松本一郎、島根半島・宍道湖中海ジオパーク推進協議会主催の2023年度ジオガイド養成講座「はじめの一步コース、ジオパークの理念と保護保全」の講師、9月16日、松江市市民活動センター、対象：市民一般
- 8) 会下和宏、島根半島・宍道湖中海ジオパーク推進協議会主催の2023年度ジオガイド養成講座「はじめの一步コース、国引き神話と文化サイト」の講師、9月16日、松江市市民活動センター、対象：市民一般
- 9) 大平寛人、島根半島・宍道湖中海ジオパーク推進協議会主催の2023年度ジオガイド養成講座「はじめの一步コース、フィールドワーク（桂島）」の講師、8月27日、松江ビジターセンター、対象：市民一般

4. 小・中・高等学校教育

● メンバー個人

- 1) 入月俊明・大平寛人、松江南高校探求科学科校外研修「島根半島の地質」の講師、9月11日、松江南高校、松江市島根町桂島、対象：松江南高探求科学科1年生生徒
- 2) 辻本 彰、しまだいジュニアドクター育成塾「桂島の秘密を探ろう」の講師、6月4日、11日、対象：小学校5年生児童～中学校2年生の生徒
- 3) 辻本 彰、松江市教育委員会研理科部研修会「小学校6年生「土地のつくりと変化」の授業づくり研修会」の講師、8月1日、松江市美保関町千酌、対象：松江市小学校教員
- 4) 辻本 彰、意宇川における川学習の事前学習講師、9月1日、対象：松江市立乃木小学校5年生児童
- 5) 辻本 彰、意宇川における川学習の講師、9月21日、対象：松江市立津田小学校5年生児童
- 6) 辻本 彰、小伊津海岸における地層学習の講師、9月22日、対象：出雲市さくら小学校6年生児童
- 7) 辻本 彰、千酌海岸における地層学習の講師、9月25、26日、対象：松江市立乃木小学校6年生児童
- 8) 辻本 彰、意宇川における川学習の講師、9月28日、対象：松江市立恵曇小学校5年生児童
- 9) 辻本 彰、千酌海岸における地層学習の講師、9月29日、対象：松江市立津田小学校6年生児童
- 10) 辻本 彰、意宇川における川学習の講師、10月10日、対象：松江市立竹矢小学校5年生児童
- 11) 辻本 彰、千酌海岸における地層学習の講師、10月12日、対象：松江市立竹矢小学校6年生児童

- 1 2) 辻本 彰、小伊津海岸における地層学習の講師、10月13日、対象：出雲市今市小学校6年生児童
- 1 3) 瀬戸浩二・辻本 彰、しまだいジュニアドクター育成塾「湖底堆積物から中海の様子を探ろう」の講師、10月14、15日、対象：小学校5年生児童～中学校2年生の生徒
- 1 4) 辻本 彰、須々海海岸における地層学習の講師、10月17日、対象：松江市立内中原小学校6年生児童
- 1 5) 辻本 彰、意宇川における川学習の講師、10月23日、対象：松江市立忌部小学校5年生児童
- 1 6) 辻本 彰、須々海における地層学習の講師、10月30日、対象：松江市立忌部小学校6年生児童
- 1 7) 辻本 彰、小伊津における地層学習の講師、11月2日、対象：松江市立法吉小学校6年生児童
- 1 8) 辻本 彰、須々海における地層学習の講師、11月2日、対象：松江市立恵曇小学校6年生児童
- 1 9) 辻本 彰、須々海における地層学習の講師、11月17日、対象：松江市立大庭小学校6年生児童
- 2 0) 亀井淳志・酒井哲弥、松江東高校 STEAM 教育特化型プロジェクト「EASTサイエンスデイ」講師、7月28日、松江ビジターセンター・松江市島根町桂島、対象：松江東高校生徒

5. その他の活動，委員会参加，広報関係など

- 1) 入月俊明、島根大学じげおこしプロジェクト事例紹介パンフレット (p. 3) 執筆
7月、タイトル：島根半島・宍道湖中海ジオパーク活動推進事業
https://www.shimane-u.ac.jp/social-contributions/_extra_files/jigeokoshiproject/html5.html#page=3
- 2) 入月俊明、ほとんど0円大学掲載、2024年4月20日、タイトル：神話と地層からひもとく「国引き大地」の歴史！ 島根大学の入月先生に聞いた、ロマン溢れるジオパークの世界。https://hotozero.com/knowledge/shimaneuniv_geopark/
- 3) 入月俊明、観光庁「地方における高付加価値インバウンド観光地づくり」に係るワークショップへの参加、1月16日
- 4) 入月俊明、島根半島・宍道湖中海ジオパーク推進協議会、総会1回、学術部会1回、幹事会1回、事務局会8回
- 5) 辻本 彰、島根半島・宍道湖中海ジオパーク推進協議会、総会1回、保全教育部会2回、幹事会1回、事務局会8回
- 6) 島根大学ジオパークパンフレット（化石、岩石・地層，歴史遺産）1000部増刷、2024年2月
- 7) 酒井哲弥、松江市文化財保護審議会「松江市手結のスランプ堆積物の文化財指定について」委員会1回.
- 8) 酒井哲弥、松江城下町遺跡白潟区指導会 指導員 指導会2回

(2) 出雲観光協会

1) 出雲エコツアー日御碕絶景トレッキング桁掛半島コース

日時：10月22日（日）9:00～13:30

会場：日御碕

参加者数：9名

2) 日御碕予約ガイド ジオコース

参加者数：1組4名（参考 日御碕全体 17組 260名）

(3) 松江市公民館

1) 島根公民館

① さくらウォーキング

主催：島根地区社協

日程：4月2日（日）

内容：山桜観賞に合わせ、北山中腹から国立公園の岬、島々のリアス海岸形状を学んだ。

参加者数：58名

② 新任教職員等町内巡り研修会

主催：島根公民館

日程：7月31日（月）

内容：須々海海岸の洗濯岩、加賀の潜戸、多古の七つ穴など代表的なジオサイトを巡り、専門家の解説を聞いた。

参加者数：18名

2) 美保関公民館

日時：10月14日（土）10:00～13:30

会場：美保関公民館

内容：環境学習（中海・境水道の恩恵とその生い立ち）と中海の恵み～掛け替えの無い中海が100年1000年と続きますように～

講師：召古ジオガイド、松原ジオガイド（応援）

参加者数：40名

(4) 出雲市コミュニティセンター

1) 久多美コミュニティセンター

日時：7月4日（火）

内容：山陰海岸ジオパーク～浦富海岸島めぐり～

講師：出雲国ジオガイドの会 三代事務局長

参加者数：25名

2) 佐香コミュニティセンター

日時：7月7日（金）

内容：四十二浦・ジオパーク巡り

講師：出雲国ジオガイドの会 金折ジオガイド

参加者数：22名

3) 灘分コミュニティセンター

日時：9月2日（土）

内容：地域防災学習～島根半島・宍道湖中海ジオパーク～

講師：野村専門員

参加者数：27名

(5) 出雲科学館

1) 小中学校理科学習

①小学5年生「流れる水のはたらき」 3単位時間（45分×3）

日程：10月5日（木）～10月19日（木） 60学級 1,490名

②中学1年生「火をふく大地」 3単位時間（45分×3）

日程：2月1日（木）～2月14日（水） 49学級 1,445名

2) 理科教員を対象とした地質研修（フィールドワーク）

日時：8月7日（月）8:30～16:10

講師：島根大学教育学部 教授 松本一郎 氏

内容：志学展望広場の地層→池田ラジウム鉱泉→小豆原理没林公園→三瓶山大平山
→わかあゆの里

参加者数：21名

3) 生涯学習事業

1) 企画展「岩石を見よう！ころころ石ころ大集合！」

日程：10月14日（土）～11月5日（日）

会場：出雲科学館

同時開催内容：①10月29日（日）14:00～15:30

サイエンストーク「島根で見つけるすごい石」

講師：愛知大学 教授 西本昌司 氏

参加者数：27名

②石ころ展をもっと楽しもうガイドツアー！

10月14日（土）、15日（日）、21日（土）、22日（日）、
28日（土）、29日（日）、11月3日（金・祝）～5日（日）
各日2回開催

参加者数：117名

③何の形に見えるかな？ストーンアートに挑戦しよう！

10月21日（土）、22日（日）、28日（土）、29日（日）
11月3日（金・祝）～5日（日）各日3回開催

参加者数：404名

2) 大人のための理科学習

①納得！川のヒミツ 10月15日（日） 参加者数：11名

※小学5年生「流れる水のはたらき」を大人向けに実施

②そうだったのか！火山と岩石 2月12日（月） 参加者数：10名

※中学1年生理科学習「火をふく大地」を大人向けに実施

3) 子ども科学学園でのフィールドワーク学習

「大地の成り立ちがわかる！斐伊川学習～ダイナミックな時間旅行～」

対象：小学5年生～中学生

講師：島根大学教育学部 教授 松本一郎 氏

内容：斐伊川の下流域から上流域にかけて、バス移動をしながらその場所の特徴や今の地形となった背景などを学ぶ。

(11/12は雨天のため出雲科学館で学習)

参加者数：11月12日(日)19名 11月19日(日)14名

(6) 小中学校ジオパーク学習

小学校25校、中学校1校(未回答：小1校、中2校)2月21日時点
(うちバス借上げ補助金事業 6校申請)

(7) 出雲市生涯学習講座

1) 出雲国ジオパーク体験ツアーin 須佐～須佐神社と八雲風穴の魅力と歴史～

日程：10月3日(火)

講師：出雲国ジオガイドの会 三代隆司 氏、前田みのり氏

参加者数：28名

2) 出雲国ジオパーク体験ツアーin 立久恵～お寺や千体仏も！？見どころいっぱい～

日程：11月7日(火)

講師：出雲国ジオガイドの会 三代隆司 氏

参加者数：30名

(8) 清掃活動

1) 宍道湖(・中海)一斉清掃(県関係自治体地元住民活動)(宍道湖周辺)

実施日6月11日(日)

①松江市 参加者3,687名、ごみ回収量約7.6t

②出雲市 参加者800名、ごみ回収量約0.58t

2) 海岸清掃事業(市民団体活動への助成)(稲佐の浜ほか島根半島海岸)

①松江市 実施回数203回、参加者のべ5,600名、ゴミ処理量約51.7t

②出雲市 実施回数116回、参加者のべ7,786名、ゴミ処理量約91t

(9) 築地松広報活動・保全活動

1) 広報事業

広報誌発行(42,000部)、HPでのPR、サービスエリアでのパンフレット配布

ボランティアガイド(築地松案内人)2名：R5案内実績5件(約64名)

出雲平野の築地松景観フォトコンテスト(募集期間 R5.12.1～R6.12.2、その後審査、表彰及びパネル展示等を実施予定)

2) 保全事業

築地松景観保全住民協定締結 153協定、3,200名、3,086.62ha

住民協定助成金交付 328件

陰手刈り技術研修会 講師4名 受講者11名

松苗配布 102本(配布人数26名)《前年度147本、40名》

(10) 養浜事業、海岸植物保全事業

1) 菌の長浜土砂管理計画に基づく養浜 (県事業)

西部農林水産振興センターは、施工している漁港浚渫で発生した砂を用いて、出雲市西園地区外園海岸における浸食防止対策を目的とした養浜を実施している。

また、外園海岸の養浜効果検証を行うため、養浜効果モニタリング業務を島根県出雲県土整備事務所が実施している。

2) 外園海岸「ハマボウフウ」の保全・育成活動 (出雲農林高校)

出雲市長浜地区の「外園海岸」(全長約4キロ)で、地域住民と出雲農林高校、県、市が共同して海浜植物「ハマボウフウ」の増殖計画を進めている。毎年、地域住民、出雲農林高校、長浜小学校、県、市で現地に植え付けを実施している。

この活動は、地域住民を中心に、出雲農林高校、長浜小学校の協力を得て、近年大幅に減少しているハマボウフウの保護による環境保全と、食用としても珍重されるハマボウフウの特産化を目指し実施されている。

(11) その他

1) 中国電力株式会社広報誌「あなたとともに」へのジオパーク記事の掲載

2023年夏号は松江市特集の順番となっており、表紙と裏表紙『eとこぶらり』にジオパークの記事を掲載していただいた。

発行元：中国電力株式会社 島根原子力本部 広報部

配布方法：山陰6都市(松江市、出雲市、安来市、雲南市、米子市、境港市)のエリア全紙新新聞折り込み 約23万部

2) 島根県技術士会生物多様性研究分科会主催「島根半島・宍道湖中海ジオパーク視察～生物多様性からのアプローチ～」

日時：11月12日(日)10:20～15:00

内容：松江ビジターセンターでのディスカッション・展示物の見学、加賀潜戸遊覧船、桂島自然観察会

参加者：島根県技術士会会員10名

第2号報告 島根半島・宍道湖中海ジオパークアクションプラン

重点取組とKPI（重要業績評価指標）の令和5年度進捗状況

令和6年2月末時点

1 重点取組

項目	内容	スケジュール	2023(令和5)年度進捗状況
保全・保護するサイトの保全管理計画の策定	すべての地質・地形サイトに共通する保全の理念に基づいて評価基準を決定し、その評価基準に基づいて達成状況を可視化できるように、別途「島根半島・宍道湖中海ジオパークサイト保全管理計画」を策定します。	2022(令和4)～2023(令和5)	・2023(令和5)年度に策定予定。
地域住民や来訪者への行動規範の作成・周知	ジオサイトや自然環境、動植物などが保全・保護すべき貴重な地域資源があることや観光公害の課題、レスポンシブルツーリズム(責任ある観光)について、地域住民や来訪者に対して、ホームページやジオツアー、研修会などを通じて周知します。	2022(令和4)～2025(令和7)	当地域の貴重な動植物や有形・無形文化財等を周知するため、サイトカード(説明書)として作成しているところである。
ジオパーク教育プログラム作成(副読本制作、小中高生への教育)	現地学習用テキストの作成やジオパークエリア内にある教育施設の活用について検討し、地質をベースとした地域の歴史・文化の発展を考え、自然環境保護や活用方法について学ぶことのできる教育プログラムを作成して、子ども達が実際の体験から大地の成り立ちと自分たちの暮らしのつながりを感じ、学ぶ機会を創出します。	2022(令和4)～2025(令和7)	・令和4年度に原稿を作成した松江市美保関町千酌海岸用の学習補助資料(副読本)を松江市・出雲市の全小学校に配布した。
地域住民向け自然災害対策に特化した教育プログラム実施	全国のジオパークや地域の公民館、コミュニティセンター、その他地域団体が実施している自然災害対策に関する優良事例を調査し、教育プログラムを作成します。 作成した教育プログラムに基づいて、行政や島根大学等の関係機関と連携しながら、地域住民向けの講座やフィールドワークを実施します。	2022(令和4)～2025(令和7)	・防災教育プログラムとして「土砂災害」「火山災害」「地震災害」「洪水災害」ごとにPPTを解説した動画コンテンツを作成した。
ジオパークエリアに入ったことが分かる看板設置	2021(令和3)年度に実施した看板設置候補地調査の報告等を活用し、来訪者が、当地域に訪れたことが容易にわかるような看板を多くの目に触れる場所に設置します。	2022(令和4)～2025(令和7)	・看板2枚設置 「美保関町福浦の県道沿い」 「美保関町七類のフェリー乗り場前」
ジオパークエリア解説看板、ジオサイト等解説看板設置	来訪者が当地域の見どころを容易に巡り楽しめるよう、ジオサイト等の見どころの場所を案内するとともに、ホームページと連携させるなど工夫を凝らしたわかりやすい解説看板をジオサイトの重要性に応じた優先順位を設けて順次整備します。	2022(令和4)～2025(令和7)	・立久恵峡看板の設置について準備中

項目	内容	スケジュール	2023(令和5)年度進捗状況
ビジターセンターやジオサイト等への誘導標識設置	来訪者が、松江ビジターセンター、日御碕ビジターセンター、ジオサイトへ容易にたどり着けるよう、見つけやすい誘導標式を設置します。	2022(令和4)～2025(令和7)	・該当なし (令和6年度に設置予定)
サイトの整理(ジオサイト、生態サイト、文化サイト)、サイトカードのデータベース化	これまで設定していたジオサイトの中には、危険な場所、訪れることが難しい場所、文化的なサイトなどが含まれていることから、生態サイト、文化サイトを新たに設け、ジオサイトの整理・更新を行います。 また、ジオサイト等をまとめたサイトカードの整理や調査事項の追記、データベース化を行います。	2022(令和4)～2023(令和5)	・生物・生態及び歴史・文化に関するサイトカード(説明書)を作成しているところである。
パートナーシップ協定の締結	関係機関、団体、企業とのパートナーシップ協定の締結を行い、それぞれの役割の明文化を図ることで、ジオパーク活動を一層推進します。	2022(令和4)～2025(令和7)	・2023(令和5)年度に8件締結(累計11件締結)
ブランディング戦略の策定	「島根半島・宍道湖中海ジオパーク」「国引きジオブランド」等、当地域において複数のブランドが使われているため、別途「島根半島・宍道湖中海ジオパークブランディング戦略」を策定し、地域で行われている事業や活動をジオパークブランドとしてまとめ、企業・団体等の出版物や発刊物にジオパークロゴマークを使用してもらうなど、ブランドイメージの統一を徹底することで、ブランド力を向上させます。	2022(令和4)～2025(令和7)	・2023(令和5)年度に策定予定。
旅行事業者等によるジオパークの魅力を巡るコース(ジオツアー)の商品販売	日本ジオパーク全国大会向けに作成したジオツアーのモデルコースの商品化を目指すとともに、地質遺産、自然遺産、文化遺産の持続可能な利用のための来訪者と地域住民の要望の調整や、観光をはじめとするガイド依頼の統一窓口を設置するなど、旅行事業者や観光協会との連携によるジオツアー商品販売等に取り組み、持続可能で質の高いジオツーリズムを推進します。	2022(令和4)～2025(令和7)	・「ジオパークの日イベント」として日御碕ジオパークツアー、「美保関町片江でのカヤック体験ツアー」を開催した。
安全対策、防災対策マニュアルの作成	地質・地形サイトとそこへ至るツアールートにおける安全対策や地震、津波、原発事故、台風、洪水の際のツアー開催基準、対策について記述する「安全対策、防災対策共通マニュアル」を作成します。	2022(令和4)～2025(令和7)	・出雲国ジオガイドの会がマニュアルを作成しているところである。

2 KPI(重要業績評価指標)

	名称(*は重点取組)	単位		2022 (令和4)	2023 (令和5)	2024 (令和6)	2025 (令和7)
1. まもる	モニタリング実施ジオサイト件数／年度	件	目標値	5	10	15	20
			実績見込	6	10	—	—
2. しる	データ公開件数／累計	件	目標値	3	6	9	12
			実績見込	3	11	—	—
3. はぐくむ	認定ジオガイド養成数／累計	人	目標値	55	65	75	80
			実績見込	55	56	—	—
	*ジオパーク教育プログラム実施件数／年度	件	目標値	30	35	40	45
			実績見込	38	47	—	—
	*地域住民向け出前講座、ジオツアー開催回数／年度	回	目標値	3	5	7	9
			実績見込	16	14	—	—
4. つたえる	松江ビジターセンター来場者数／年度	人	目標値	4,600	4,700	4,800	4,900
			実績見込	4,525	5,200	—	—
	日御碕ビジターセンター来場者数／年度	人	目標値	25,000	30,000	36,000	40,000
			実績見込	18,230	22,000	—	—
	ホームページ閲覧者数／年度	人	目標値	5,000	5,500	6,000	6,600
			実績見込	19,515	13,000	—	—
	*看板(総合看板、サイト看板、誘導看板含む)数／累計	基	目標値	30	35	40	45
			実績見込	34	37	—	—
5. つくる	*旅行者等主催のジオツアー開催回数／年度	回	目標値	2	3	4	5
			実績見込	3	3	—	—
6. ささえる	学術研究奨励事業補助金交付決定数／年度	件	目標値	5	6	7	8
			実績見込	2	4	—	—
	地域活動補助金(普及啓発事業等補助金・推進環境整備事業補助金)交付決定数／年度	件	目標値	12	13	14	15
			実績見込	12	11	—	—
	ジオパーク授業におけるバス借り上げ料補助金交付決定数／年度	件	目標値	27	28	29	30
			実績見込	20	27	—	—
7. むすぶ	*パートナーシップ協定の締結件数合計／累計	件	目標値	5	10	15	20
			実績見込	3	11	—	—
	ジオサポ会員数／年度	人	目標値	450	455	460	465
			実績見込	399	435	—	—
	JGN関係会議、研修会等への参加人数／年度	人	目標値	5	7	9	11
			実績見込	28	14	—	—

KPI全項目16	うちKPI達成項目 10(62.5%)
	KPI未達成項目 6(37.5%)

第3号報告 島根半島・宍道湖中海（国引き）ジオパーク推進協議会

令和5年度一般会計決算見込

令和6年2月末現在

歳入

(円)

項目	予算額①	決算見込額②	差引(②-①)	増減理由	摘要
松江市・出雲市負担金	16,000,000	16,000,000	0		松江市・出雲市各8,000,000円
半島振興広域連携促進事業	6,420,000	5,930,000	△ 490,000	・実績に応じたもの	国補助金
自然公園を活用した誘客促進事業	350,000	253,000	△ 97,000	・実績に応じたもの	島根県補助金
会費	455,000	495,000	40,000	・実績に応じたもの	ジオサポ会費収入
雑収入	838,000	1,138,756	300,756	・ポロシャツ販売収入(+122千円) ・イベント参加料(+178千円)等	ポロシャツ販売収入等
前年度繰越金	973,000	833,344	△ 139,656	・実績に応じたもの	
合計	25,036,000	24,650,100	△ 385,900		

歳出

(円)

項目	予算額①	決算見込額②	差引(②-①)	増減理由	摘要
管理運営費	6,685,000	6,573,300	△ 111,700		
会計年度任用職員等人件費	3,930,000	3,930,000	0		・事務局員(会計年度任用職員)1名人件費 ・非常勤専門員1名人件費
事務局運営費	2,755,000	2,643,300	△ 111,700	・松江ビジターセンター案内業務人件費(△126千円)等	・JGN年会費 ・事務局専用車リース・燃料代 ・松江ビジターセンタースタッフ人件費・管理費等
事業費	18,351,000	16,924,897	△ 1,426,103		
調査・研究・交流	4,160,000	3,134,293	△ 1,025,707	・JGN関係会議旅費(△527千円) ・3ジオパーク研修会開催費(△451千円)等	・JGN通常総会・全国大会・全国研修会 ・中四国近畿ブロック研修会参加旅費 ・3ジオパーク(隠岐・山陰海岸・島根半島・宍道湖中海)連携事業費 ・ジオサイトモニタリング費 ・歴史・文化及び生物・生態サイトカード制作費等
広報・宣伝	5,918,000	6,241,813	323,813	・子ども向け解説冊子印刷費(+143千円) 桂島パンフレット印刷費(+165千円)等	・会報誌作成費 ・看板整備費 ・ジオパークの日イベント実施費 ・スポーツイベント協賛費 ・各種パンフレット印刷費等
普及啓発・教育活動	8,273,000	7,548,791	△ 724,209	・地域活動補助金(△634千円)等	・カヤック体験イベント開催費 ・防災・減災教育プログラム制作費 ・ジオガイド養成講座開催費 ・ジオガイドスキルアップ研修・認定更新研修開催費 ・学校向けジオパーク学習補助資料印刷費 ・各種補助金(学術研究奨励事業、地域活動、ジオ授業バス借上料)等
合計	25,036,000	23,498,197	△ 1,537,803		

次年度繰越額 1,151,903

第1号議案

役員改選（案）

（任期：令和6年4月1日～令和8年3月31日）

役職	氏名	所属	再任新任
会長	上定 昭仁	松江市長	再任
副会長	飯塚 俊之	出雲市長	再任
副会長	田部 長右衛門	松江商工会議所会頭	再任
副会長	小林 祥泰	島根大学名誉教授	再任
会長代行	小林 祥泰	島根大学名誉教授	再任

【島根半島・宍道湖中海（国引き）ジオパーク推進協議会規約（抜粋）】

（役員）

第5条 協議会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
 - (2) 副会長 3名
 - (3) 会長代行 1名
 - (4) 監事 2名
- 2 会長及び副会長は会員の互選とし、総会において選出する。
 - 3 副会長の中から会長代行を総会において選出する。
 - 4 監事は、松江市、出雲市の会計管理者とする。
 - 5 役員任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。
 - 6 欠員により補充された役員任期は、前任者の残任期間とする。

第2号議案 島根半島・宍道湖中海（国引き）ジオパーク推進協議会
令和6年度事業計画（案）

【令和6年度重点取組について】

- ◆令和7年度に2回目の日本ジオパーク再認定審査が予定されており、令和3年度の再認定審査で指摘された事項について対応しておかなければなりません。着実に対応を図っているところですが、まだ着手していない事項について対応を図ります。
- ◆新型コロナウイルス感染症が落ち着いてきたことから、ジオパークを活用した観光誘客の促進や、ジオサイトをフィールドワークとする地域住民向けの自然体験イベントなどに取り組みます。

1 令和7年度日本ジオパーク再認定審査に向けた準備

事業名	取組内容	ジオパークアクションプランにおける重点取組	ジオパークアクションプランの令和6年度KPI
広報・宣伝事業	(1) 令和6年度重点取組 松江ビジターセンター、日御碕ビジターセンターへの誘導標識看板の設置	○	看板設置累計数40基
	(2) 令和6年度重点取組 ジオパーク解説看板の設置 ・松江ビジターセンター横の看板改修	○	
	(3) 地域住民や来訪者への行動規範の作成・周知 ・ジオパーク推進協議会ホームページ等でごみの持ち帰りや、石や生物等を持ち返らないように注意喚起を図る	○	—

2 ジオパークアクションプランにもとづく取組

事業名	取組内容	ジオパークアクションプランにおける重点取組	ジオパークアクションプランの令和6年度KPI
調査・研究・交流事業	(1) 歴史・文化サイトカードの作成	○	—
	(2) パートナーシップ協定締結	○	協定締結累計件数15件
	(3) ジオサイトのモニタリング	—	モニタリング実施回数15回
	(4) ジオパークサポーター加入促進	—	ジオサポ会員数460人
	(5) JGN活動への参加や3ジオパーク連携事業の実施	—	ジオパーク関係会議、研修会等への参加人数9人

事業名	取組内容	ジオパークアクションプランにおける重点取組	ジオパークアクションプランの令和6年度KPI
広報・宣伝事業	(6) 令和6年度重点取組 旅行事業者等によるジオパークの魅力 を巡るコースの造成・販売 ・島根半島・宍道湖中海ジオパークを 巡るツアー	○	旅行業者等主 催のジオツア ー開催回数 4 回
	(7) 令和6年度重点取組 ジオパークフォトコンテストの実施	—	—
	(8) ジオパークパンフレットの改訂	—	—
	(9) ホームページのリニューアル	—	—
	(10) ジオパーク会報誌の制作・印刷 (年3回)	—	—
	(11) ジオパークの日イベント開催	—	—
	(12) ジオパークオリジナルポロシャツ販売	—	—
普及啓発・教育活動	(13) 令和6年度重点取組 自然体験イベントの開催 ・美保関、立久恵峡等でのイベント等	—	—
	(14) 島根半島を横断するロングトレイルコ ースの検討	—	—
	(15) ジオガイド養成講座と認定試験の実施	—	ジオガイド養 成累計数 75 人
	(16) ジオガイドスキルアップ講座と認定更 新研修会の開催	—	—
	(17) 各種補助金の交付 ① 学術研究奨励事業補助金 ② 普及啓発及び推進環境整備補助金 ③ ジオパーク授業で使用するバス借 上料補助金	—	① 補助金交付 決定数 7 件 ② 補助金交付 決定数 14 件 ③ 補助金交付 決定数 29 件

第3号議案 島根半島・宍道湖中海（国引き）ジオパーク推進協議会

令和6年度一般会計予算（案）

歳入

(千円)

項目	令和6年度 予算額①	令和5年度 予算額②	差引 (①-②)	増減理由	摘要
松江市・出雲市負担金	16,000	16,000	0		松江市・出雲市各8,000千円
半島振興広域連携促進事業	4,840	6,420	△ 1,580	国の内示によるもの	国庫補助金（補助率1/2）
自然公園を活用した誘客促進事業	295	350	△ 55		島根県補助金（補助率1/2）
会費	460	455	5		ジオサポ会費収入
雑収入	800	838	△ 38		ポロシャツ販売収入等
前年度繰越金	1,151	973	178		
合計	23,546	25,036	△ 1,490		

歳出

(千円)

項目	令和6年度 予算額①	令和5年度 予算額②	差引 (①-②)	増減理由	摘要
管理運営費	6,891	6,685	206		
会計年度任用職員 等人件費	4,156	3,930	226	・事務局員（会計年度任用職員）人件費（+226千円）	・事務局員（会計年度任用職員）1名人件費 ・非常勤専門員1名人件費
事務局運営費	2,735	2,755	△ 20		・JGN年会費 ・事務局専用車リース・燃料代 ・ビジターセンタースタッフ人件費・管理費等
事業費	16,655	18,351	△ 1,696		
調査・研究・交流	2,999	4,160	△ 1,161	・文化・生態サイトカード作成費（△1,133千円）等	・JGN通常総会・全国大会・全国研修会・中四国近畿ブロック研修会参加旅費 ・3ジオパーク（隠岐、山陰海岸、島根半島・宍道湖中海）連携事業費 ・ジオサイトモニタリング費等
広報・宣伝	6,846	5,918	928	・ジオツアー催行費（+388千円） ・ジオパークHPリニューアル経費（+547千円） ・看板整備費（+451千円）等	・ジオツアー催行費 ・看板整備費 ・フォトコンテスト開催費 ・HP、ジオパークパンフレットリニューアル費 ・ジオパークの日イベント実施費 ・会報誌作成費等
普及啓発・教育活動	6,810	8,273	△ 1,463	・防災・減災教育プログラム作成費（△500千円） ・小学校向け学習補助資料印刷費（△600千円）等	・自然体験イベント開催費 ・ジオガイド養成講座開催費 ・ジオガイドスキルアップ研修、認定更新研修開催費 ・各種補助金（学術研究奨励事業、地域活動、ジオ授業バス借上料）等
合計	23,546	25,036	△ 1,490		

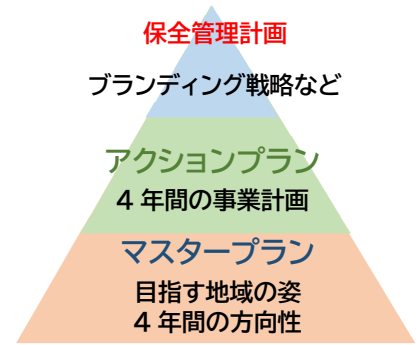
第4号議案 島根半島・宍道湖中海ジオパーク保安全管理計画（案）

1. 計画の目的

- 「日本ジオパークネットワークの自然環境保全に関する指針（2018年2月28日）」では保全の進め方として保全計画の作成が定められています。[資料1参照](#)
- ジオパークの理念にもとづき島根半島・宍道湖中海ジオパークの地域資源を保安全管理するための方針や具体的な方策を定めます。

2. 計画の位置付け

- 島根半島・宍道湖中海ジオパークマスタープランで「目指す地域像」や「取り組みの方向性」を示し、全体的な取り組みは島根半島・宍道湖中海ジオパークアクションプランで定めるほか、個別具体の取組として「島根半島・宍道湖中海ジオパーク保安全管理計画」を定めるものとします。



3. 計画期間

2024（令和6）年4月1日～2026（令和8）年3月31日の2年間

- 日本ジオパーク再認定期間の満了年度である2025（令和7）年度までの計画期間とし、2年間の取組進捗状況をふまえ、更新していきます。

4. 島根半島・宍道湖中海ジオパークのジオサイト一覧

	探訪サイト		探検サイト	眺望サイト
島根半島 ジオヘリテージ	1 日御碕の柱状節理	11 桂島	1 古浦海岸の貝化石	1 大社湾北岸
	2 鷺浦の縦穴海食洞	12 加賀の潜戸	2 加賀の潜戸鼻	2 弥山のごえんゴウロ
	3 唐川地域の黒鉱鉱床	13 多古の石柱	3 佐波の海底火山	3 多古の七つ穴
	4 唯浦の直立層	14 千酌の波食棚	4 瀬崎海岸	4 西浜佐蛇の十六禿
	5 大船山	15 惣津の波食棚	5 築島の岩脈	5 入道礁
	6 赤浦海岸	16 美保関隕石	6 笠浦半島の海底火山堆積物	6 地蔵崎
	7 小伊津・十六島の砂泥互層	17 松江層の潮汐堆積層	7 美保関古浦ヶ鼻の鉱物	
	8 手結のスランプしゅう曲		8 法田の波食棚	
	9 御津海岸の生痕化石		9 美保関の海食崖	
	10 須々海の洗濯岩		10 宇井の古浦層	
出雲平野・宍道湖中海低地帯 ジオヘリテージ	1 出雲砂丘	5 連結汽水湖の中海		1 嫁ヶ島
	2 神戸川	6 嵩山と和久羅山		
	3 斐伊川	7 大根島火山		
	4 連結汽水湖の宍道湖	8 大根島の湧水		
南部丘陵山地 ジオヘリテージ	1 田儀の食い違い礫	5 小田海岸の貝化石		
	2 朝山の六神山	6 来待石の石切場跡		
	3 立久恵峡	7 花仙山のメノウ脈		
	4 八雲風穴	8 日吉の切り通しと旧蛇行河道		

島根半島・宍道湖中海ジオパーク分布図 [資料2参照](#)

【注釈】

- ・探訪サイト：ジオヘリテイジについて探訪し、学び、教育・研究活動をすることのできる地点。
- ・探検サイト：探訪サイトに準じるが、特別な経験やガイド者の同行、装備が必要な場合など、現状としてある程度の困難が伴う地点。
- ・眺望サイト：アクセスが困難又は容易でないジオサイトについて、眺望し学ぶ地点。

5. ジオサイト保全の現況

(1) ラムサール条約登録湿地

1) ラムサール条約とは

ラムサール条約は1971（昭和46）年2月2日にイランのラムサールという都市で開催された国際会議で採択された湿地に関する条約です。正式名称は、「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」と言いますが、採択の地にちなみ、一般的に「ラムサール条約」と呼ばれています。

条約の目的である湿地の「保全（・再生）」と「ワイズユース（賢明な利用）」、これらを促進する「交流、学習（CEPA）」の3本が条約の基盤となる考え方です。

条約は、国際的に重要な湿地及びそこに生息・生育する動植物の保全を促進するため、各締約国がその領域内にある国際的に重要な湿地を1ヶ所以上指定し、条約事務局に登録するとともに、湿地の保全及び賢明な利用促進のために各締約国がとるべき措置などについて規定しています。

2) ラムサール条約湿地とは

ラムサール条約の締約国は、自国の湿地を条約で定められた国際的な基準に従って指定し、条約事務局が管理する「国際的に重要な湿地に係る登録簿」に掲載されることで「ラムサール条約湿地」となります。

3) 島根半島・宍道湖中海ジオパーク内のラムサール条約登録湿地

- ・宍道湖（2005（平成17）年11月8日に登録）
- ・中海（2005（平成17）年11月8日に登録）

(2) 自然公園法

1) 目的：我が国を代表する優れた自然の風景地を保護するとともに、その利用の増進を図ることにより、国民の保健、休養及び教化に資するとともに、生物の多様性の確保に寄与することを目的としています。

2) 定義：自然公園…国立公園、国定公園、都道府県立自然公園を言います。

国立公園…我が国を代表するに足りる傑出した自然の風景地（環境省が指定し国が管理）

国定公園…国立公園に準ずる自然の風景地（環境省が指定し都道府県が管理）

都道府県立自然公園…優れた自然の風景地（都道府県が指定し管理）

3) 保護に関する計画（行為規制に関するゾーニング）：

・特別保護地区…特別地域内で特に嚴重に景観の維持を図る必要のある地区	許可制 (建築物の新・増
・特別地域…優れた風致景観を有する陸域。第1	改築、木材の伐

種、第2種、第3種に区分 ・海域公園地区…優れた海域景観の維持及び適正な利用を図る地域	採、土石の採取など)
・普通地域…特別地域及び海域公園地区以外の地域	事前届出制

4) ①島根半島・宍道湖中海ジオパーク内の国立公園：

資料3参照（環境省大山隠岐国立公園ホームページより）

- ・大山隠岐国立公園島根半島東部地域（松江市美保関町、島根町、鹿島町の沿岸）
- ・大山隠岐国立公園島根半島西部地域（出雲市大社町の沿岸）

②島根半島・宍道湖中海ジオパーク内の国定公園：該当なし

③島根半島・宍道湖中海ジオパーク内の島根県立自然公園：

- ・宍道湖北山県立自然公園（第2種特別地域）
- ・立久恵峡県立自然公園（第3種特別地域）



島根県ホームページより

(3) 森林法

- 1) 目的：森林計画、保安林その他の森林に関する基本的事項を定めて、森林の保続培養と森林生産力の増進とを図り、もつて国土の保全と国民経済の発展とに資することを目的としています。
- 2) 地域森林計画：都道府県が全国森林計画に即して、「森林の有する機能別の森林の整備及び保全の目標その他森林の整備及び保全に関する基本的な事項」「伐採立木材積その他森林の立木竹の伐採に関する事項」「造林面積その他造林に関する事項」などの事項を定めた地域森林計画を策定します。島根県では4つの森林計画区を定めています。

3) 島根半島・宍道湖中海ジオパーク内の地域森林計画

・斐伊川森林計画区

対象区域	樹立年度 (計画期間)
松江市、出雲市、安来市、雲南市、 奥出雲町、飯南町	令和4年度 (2023(令和5)年4月1日～ 2033(令和15)年3月31日)

(4) 海岸法

1) 目的: 津波、高潮、波浪その他海水又は地盤の変動による被害から海岸を防護するとともに、海岸環境の整備と保全及び公衆の海岸の適正な利用を図り、もって国土の保全に資することを目的としています。

2) 海岸保全基本計画: 都道府県は、国が定める海岸保全基本方針に基づき海岸保全区域などに係る海岸の保全に関する基本計画を定めています。

島根県では、2021(令和3)年3月に改定された「島根沿岸海岸保全基本計画」(562,249m)、2017(平成29)年3月に改定された「隠岐沿岸海岸保全基本計画」(464,657m)をもとに、海岸の保全を進められています。

3) 島根半島・宍道湖中海ジオパーク内の海岸保全基本計画

・島根沿岸海岸保全基本計画



(5) 河川法

1) 目的: 河川について洪水、津波、高潮などによる災害の発生が防止されること、及び河川が適正に利用され、流水の正常な機能が維持されること、かつ河川環境の整備と保全がされるように総合的に管理することにより、国土の保全と開発に寄与し、もって公共の安全を保持するとともに、公共の福祉を増進することを目的としています。

2) 島根半島・宍道湖中海ジオパーク内の河川法適用となる代表的な河川

・斐伊川水系(斐伊川(宍道湖、中海などを含む)、神戸川、剣先川など)など

(6) 文化財保護法

1) 目的: 文化財を保存し、かつ、その活用を図り、もって国民の文化的向上に資するとともに、世界文化の進歩に貢献することを目的としています。

2) 島根半島・宍道湖中海ジオパーク内のジオサイトに関わる文化財

①松江市

【(国指定文化財)名勝】

指定	指定年月日	名称	所在地	備考
国	昭和8年2月28日	美保の北浦	美保関	地蔵崎から七類までの島根半島北岸一帯の景勝地

【(国指定文化財)名勝及び天然記念物】

指定	指定年月日	名称	所在地	備考
国	昭和2年6月14日	潜戸(くけど)	島根町	新潜戸と旧潜戸の2つの海中洞窟、新潜戸は『出雲国風土記』に佐太大神の

				生誕地と記される
--	--	--	--	----------

【(国指定文化財) 特別天然記念物】

指定	指定年月日	名称	所在地	備考
国	昭和 6 年 7 月 31 日 ※特別天然記念物指定 昭和 27 年 3 月 29 日	大根島の熔岩隧道(ずいどう)	八束町	熔岩流の滞留によるガス溜まりによってできた空洞

【(国指定文化財) 天然記念物】

指定	指定年月日	名称	所在地	備考
国	昭和 7 年 7 月 23 日	多古の七ツ穴	島根町	海食が進行してできた 9 個の波食洞穴
国	昭和 7 年 7 月 23 日	築島の岩脈	島根町	島根町野波地区の瀬崎東方海上 500 メートルにある島、岩脈の色々な様態が見られる
国	昭和 10 年 6 月 7 日	大根島第二熔岩隧道(ずいどう)	八束町	熔岩の表面が固まった後、内部が流動してできた熔岩トンネル、独特の洞窟生態系を形成

②出雲市

【(国指定文化財) 天然記念物】

指定	指定年月日	名称	所在地	備考
国	大正 11 年 3 月 8 日	経島(ふみしま)のウミネコ繁殖地	大社町日御碕	経島の名は、流紋岩の柱状節理が経巻(きょうかん)を積み重ねたように見えることから付けられた

【(国指定文化財) 名勝及び天然記念物】

指定	指定年月日	名称	所在地	備考
国	昭和 2 年 4 月 8 日	立久恵(たちくえ)	乙立町	神戸川上流 2 キロメートルに亘る峡谷

(7) 景観法

1) 目的: 我が国の都市、農山漁村などにおける良好な景観の形成を促進するため、景観計画の策定その他の施策を総合的に講ずることにより、美しく風格のある国土の形成、潤いのある豊かな生活環境の創造及び個性的で活力ある地域社会の実現を図り、もって国民生活の向上並びに国民経済及び地域社会の健全な発展に寄与することを目的としています。

2) 松江市・出雲市における条例・計画

①松江市景観条例、松江市景観計画

松江市景観計画は、景観法に基づく景観形成の方針や基準などを示すものであり、市全域を「松江市景観計画区域」として定め、ゆるやかな規制・誘導を行っています。また、松江城周辺や宍道湖周辺など重点的に良好な景観形成を図るべき区域を「景観計画重点区域」として定め、よりきめ細かな基準により規制・誘導を行っています。

②出雲市景観まちづくり基本条例、出雲市景観条例、出雲市景観計画

出雲市域における景観計画の区域を設定し、景観形成上影響が大きい大規模な建築物や工作物の建設などに対し、ゆるやかな規制・誘導を行っています。きめ細やかな景観形

成基準により、重点的に景観形成を図る地域を設けています。

(8) 屋外広告物法

1) 目的：良好な景観の形成、風致の維持、公衆に対する危害を防止するために、屋外広告物の表示及び屋外広告物を掲出する物件の設置と維持などについて、必要な規制の基準を定めることを目的としています。

2) 松江市・出雲市における条例・計画

①松江市屋外物条例、松江市屋外広告物計画

景観行政と屋外広告物行政の一体性を高め、良好な景観の創出を目指しています。

②出雲市

島根県屋外広告物条例にもとづき屋外広告物などについて必要な規制を行いことで、良好な景観形成と風致の維持を行っています。

(9) 地域での自主的な保全活動

松江市公民館や出雲市コミュニティセンター、自治会などの地域団体や企業による海岸漂着ごみなどのごみ清掃活動、除草作業などが松江市・出雲市内随所で自主的に取り組まれています。地域の皆様のご尽力によりジオサイトの保全活動が継続的に行われています。

6. ジオサイト以外の保全の現況

(1) 島根県鳥獣保護区

鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律にもとづき、環境大臣又は都道府県知事は、鳥獣の種類その他鳥獣の生息の状況を勘案して当該鳥獣の保護を図るため、鳥獣保護区を指定することができます。[資料4参照](#)

1) 鳥獣保護区

野生鳥獣の保護を図るため、必要があると認められる地域を指定し、鳥獣の捕獲を禁止するものです。

○島根半島・宍道湖中海ジオパーク内の鳥獣保護区

①松江市

名称	面積 (ha)	名称	面積 (ha)
古江	629	宍道湖 (国指定) (県指定)	7,899
万寿寺	100		939
多古鼻	285	美保関	560
玉造	392	地蔵崎	230
ふるさと森林公園	57	枕木山	68
片句	323	熊野	290
西忌部	130	楽山	40
中海 (国指定)	7,947	来待	275
嵩山	281	かんべの里	39

②出雲市

名称	面積 (ha)	名称	面積 (ha)
神門川	375	稗原ダム	9
湊原	130	神西湖	400
宍道湖 (国指定) (県指定)	7,899	目田	6
	939	愛宕山	211
大社	322	斐伊川	579
大池	378	一の谷	230
鱒淵	560		

2) 特別鳥獣保護地区

鳥獣保護区のうち、鳥獣の生息、繁殖に重要な地域を指定し、一定規模以上の開発などを規制するものです。

○島根半島・宍道湖中海ジオパーク内の特別鳥獣保護地区

名称	面積 (ha)
万寿寺	5
中海 (国指定)	7,947
宍道湖 (国指定)	7,688



(2) 文化財保護法

国、島根県、松江市・出雲市に指定されている有形文化財（建築物など）、無形文化財（工芸技術）、民俗文化財（有形、無形）、記念物（史跡、名称、天然記念物など）があります。

①松江市（令和5年8月18日現在）

種別	国指定 (うち国宝)		県指定	市指定	計								
有形文化財	27	(2)	56	76	159								
<table border="1"> <tr><td>建造物</td></tr> <tr><td>絵画</td></tr> <tr><td>彫刻</td></tr> <tr><td>工芸品</td></tr> <tr><td>書跡</td></tr> <tr><td>古文書</td></tr> <tr><td>考古資料</td></tr> <tr><td>歴史資料</td></tr> </table>	建造物	絵画	彫刻	工芸品	書跡	古文書	考古資料	歴史資料	8	(2)	6	12	26
	建造物												
	絵画												
	彫刻												
	工芸品												
	書跡												
	古文書												
	考古資料												
歴史資料													
1		14	6	21									
8		5	10	23									
5		13	14	32									
		4	1	5									
		8	13	21									
5		6	10	21									
			10	10									
無形文化財			1		1								

種別		国指定 (うち国宝)		県指定	市指定	計
	工芸技術			1		1
民俗文化財		4		2	8	14
	有形民俗文化財	3		2	6	11
	無形民俗文化財	1			2	3
記念物		29	(1)	20	27	76
	史跡	22		18	10	50
	名勝	1			2	3
	史跡及び名勝	1				1
	天然記念物	4	(1)	2	15	21
	名勝及び天然記念物	1				1
合計		60	(3)	79	111	250

②出雲市（令和5年8月25日現在）

種別		国指定 (うち国宝)		県指定	市指定	計
有形文化財		34	(3)	54	62	150
	建造物	5	(1)	5	4	14
	絵画	3		9	7	19
	彫刻	4		12	14	30
	工芸品	8	(2)	17	4	29
	書跡	2		3	4	9
	典籍	0		2	3	5
	古文書	8		5	10	23
	考古資料	4		1	16	21
	歴史資料	0		0	0	0
無形文化財		0		1	0	1
	工芸技術	0		1	0	1
民俗文化財		1		10	33	44
	有形民俗文化財	0		2	8	10
	無形民俗文化財	1		8	25	34
記念物		16		7	33	56
	史跡	13		6	14	33
	名勝	0		0	0	0
	天然記念物	2		1	19	22
	名称及び天然記念物	1		0	0	1
合計		51	(3)	71	128	250

7. 島根半島・宍道湖中海ジオパークの保全に関する考え方

(1) ジオサイトと自然環境の保全

島根半島・宍道湖中海ジオパークにある貴重な地質遺産と自然環境、有形・無形文化財等を守るため、現状維持を前提として、ジオサイトの保全に加えて自然環境等の保全にも努めていきます。

(2) 持続可能な利活用

ジオサイトと自然環境の保全に努めるとともに、自然体験学習やジオパーク教育などの場として将来にわたる持続可能な利活用をめざします。

8. 島根半島・宍道湖中海ジオパーク保全活動

(1) ジオパーク推進協議会による保全活動

1) ジオサイトなどの価値を確認するための資料整理

①ジオサイトカードについて、研究論文名の追加など随時内容を更新していきます。

②当地域の特徴的な生態に関する生物・生態サイトカード、並びに歴史・文化サイトカードの作成も進めます。

2) ジオサイトのモニタリング実施

①すべてのジオサイトに共通する保全の理念にもとづいて評価項目を分類し、その評価基準にもとづいて達成状況の可視化を行うため、「ジオサイトモニタリング実施記録書」の書式を定めてモニタリングを実施します。[資料5参照](#)

モニタリングは、ジオサイトのうち多くの方々が行くことが想定される探訪サイトを対象とし、年1回の実施を目途とします。

②ジオガイドや地域住民、地域団体、島根大学などの研究者との連携により実施します。

③異変などを確認した場合、ジオサイトの所有者や管理者に連絡し、修繕などの対応を依頼する取組を行うため、「ジオサイト異状報告書」の書式を定めます。[資料6参照](#)

④取組にあたっては必要に応じて、関係法令にもとづき国、県、市の関係行政機関と連携を図ります。

3) 保全についての周知・啓発

ジオパーク推進協議会のホームページやSNS、紙媒体、また、ジオツアーや自然体験イベント、ジオサイト看板などを通じて、景観や自然環境を壊さないように啓発するとともに、法的な保全制度の順守について継続的な情報発信を行います。



4) 持続可能な地質物品の収集や取引への取組

地質物品（岩石・鉱物・化石標本、ストーンショップやおみやげ物屋に見られる石の装飾品など）の当地域に適した保全策の考案と実施のために、持続可能な地質物品の収集や取引に向け、以下の取り組みを行います。

①来待石などの地質物品の販売事業者などと適宜情報交換できる関係を構築します。

②来待石などの地質物品の埋蔵量や販売量を把握します。

③日本ジオパークネットワークの地質物品販売に関する考え方の動向を把握するため、保

全ワーキンググループなどにおける議論の進捗状況などについて調査・研究します。

(2) 地域住民、地域団体による保全活動

1) 自主的な保全活動

地域住民などによる海岸漂着ごみなどの清掃活動、ジオサイトにおける除草作業といった環境整備などを支援するため、ジオパーク地域活動補助金の交付や、参加者を募るための情報発信などで協力を行います。

2) 日常的な巡視活動

地域住民などがジオサイトにおける異変を確認した場合、どこに連絡すれば分からないことが多々あります。ジオサイトにおける異変を確認した場合の連絡先としてジオパーク推進協議会を周知していきます。

連絡を受けたジオパーク推進協議会は、該当のジオサイト管理者や所有者を調査し、資料 5 「ジオサイト異状報告書」を使用して異変について連絡し、修繕などの対応を依頼します。

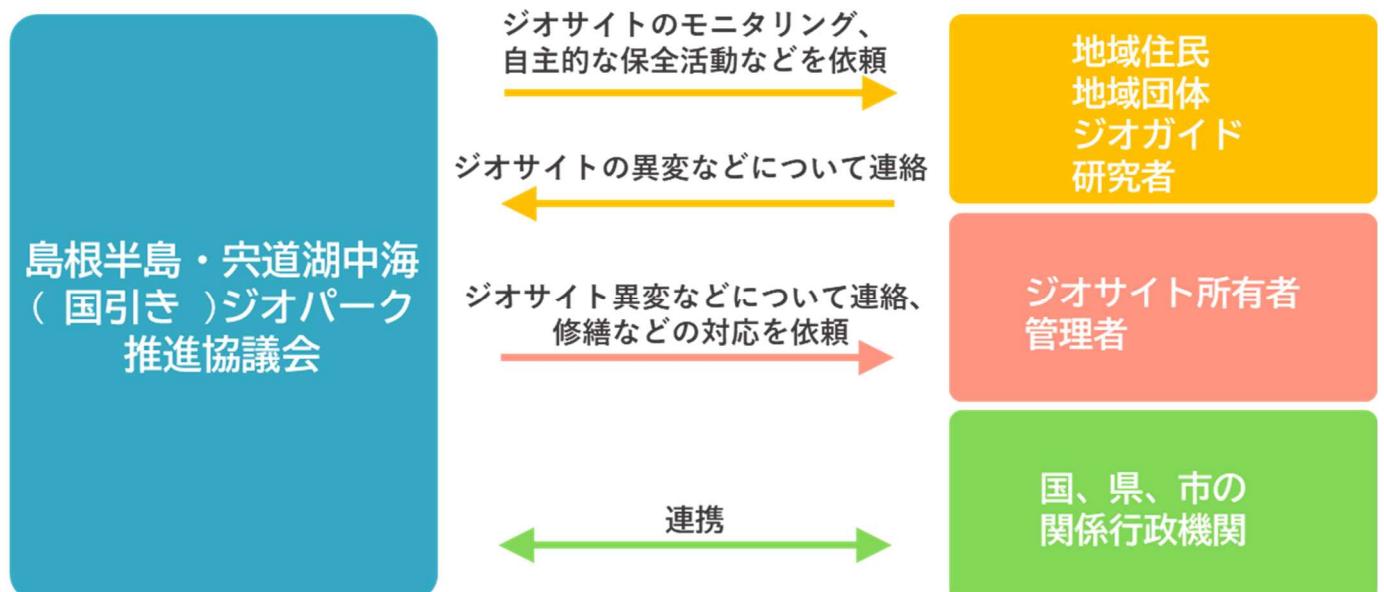
(3) 来訪者による保全活動への協力

ジオパーク推進協議会が景観や自然環境を壊さないように啓発するとともに、法的な保全制度の順守について継続的な情報発信を行い、来訪者に保全活動に配慮した行動を求めます。

9. 島根半島・宍道湖中海ジオパーク保全活動の推進体制、点検・評価の実施

(1) 推進体制

本計画は、日常的にジオサイトを訪れることが多い地域住民や地域団体、ジオサイトでのガイド活動を担うジオガイド、ジオサイトに調査などで訪れる研究者、ジオサイトの所有者や管理者、国・県・市の関係行政機関の協力を得て推進します。



(2) 点検・評価の実施

本計画はPDCAサイクルに沿って実行し、毎年度、ジオパーク保全・教育部会において、本計画で掲げた「ジオパーク推進協議会による保全活動」の実施状況を確認するとともに点検・評価を行い、効果的な計画の推進に努めます。また、必要に応じて計画の見直しを行います。

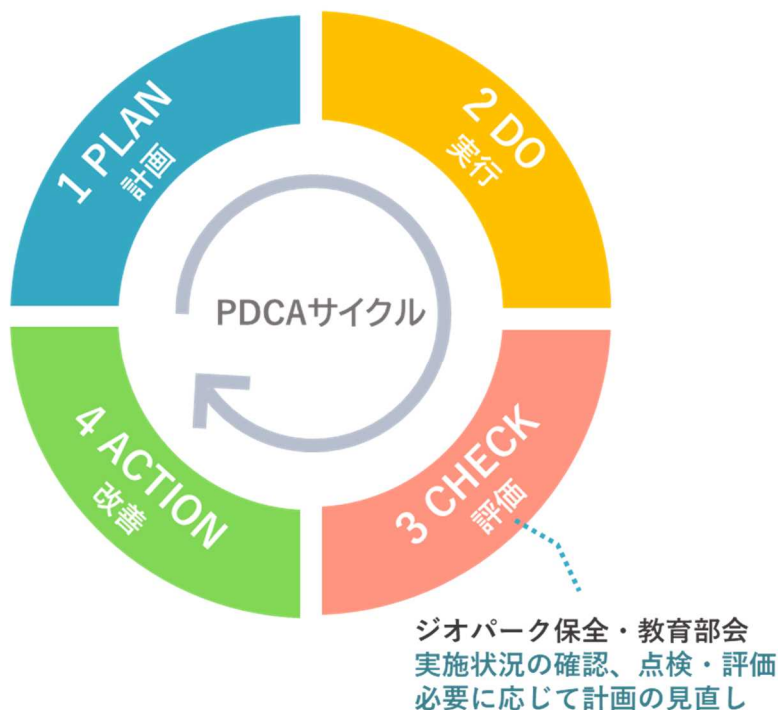
【ジオパーク推進協議会による保全活動】

- ①ジオサイトなどの価値を確認するための資料整理
- ②ジオサイトのモニタリング実施

ジオサイトのモニタリング実施については、島根半島・宍道湖中海ジオパークアクションプランで2022（令和4）年度から4年間のKPIを設定しています。

	目標値（年度）			
	2022 （令和4）	2023 （令和5）	2024 （令和6）	2025 （令和7）
モニタリング実施回数／年度	5	10	15	20

- ③保全についての周知・啓発
- ④持続可能な地質物品の収集や取引



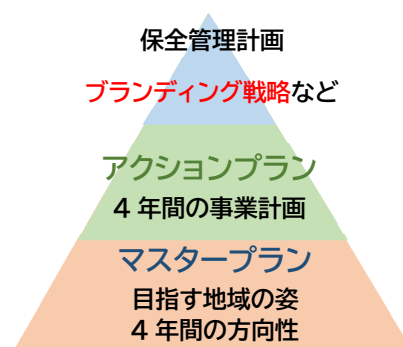
第5号議案 島根半島・宍道湖中海ジオパークブランディング戦略(案)

1 ブランディング戦略の目的

「島根半島・宍道湖中海ジオパーク」の魅力や特徴を分かりやすく伝えるブランド価値を定着させるための戦略を定めます。

2 ブランディング戦略の位置付け

島根半島・宍道湖中海ジオパークマスタープランで「目指す地域像」や「取り組みの方向性」を示し、全体的な取り組みは島根半島・宍道湖中海ジオパークアクションプランで定めるほか、個別具体の取組として「島根半島・宍道湖中海ジオパークブランディング戦略」を定めるものとします。



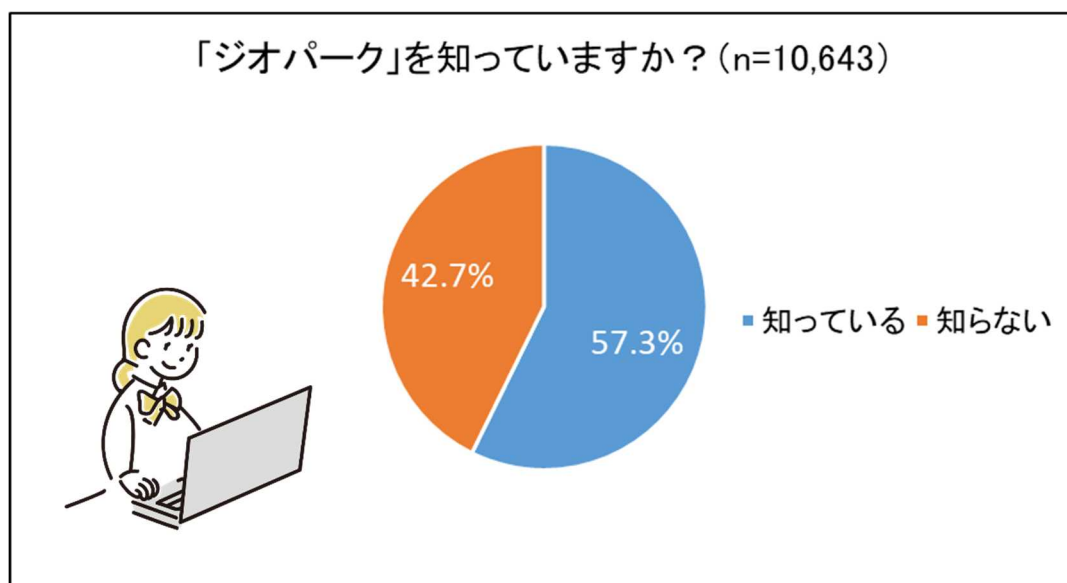
3 現状、課題

(1) 「島根半島・宍道湖中海ジオパーク」認知度向上、ブランド価値定着の必要性

1) ジオパークの認知度調査結果

① 日本ジオパークネットワーク（JGN）による認知度調査

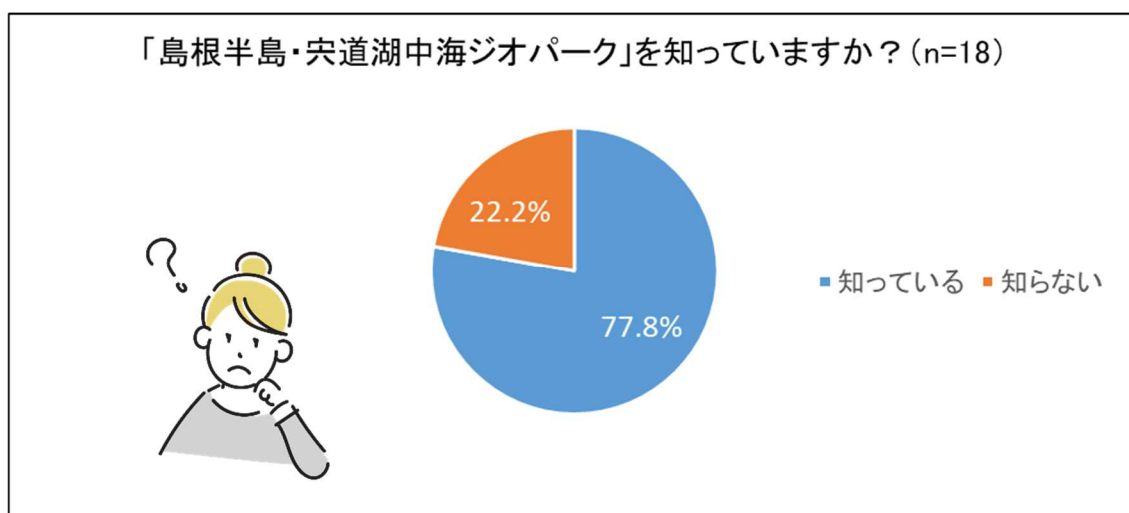
JGNが令和4年度にインターネットを使った全国アンケート調査を実施し、サンプル数10,643件の57.3%が「ジオパークを知っている」と回答しています。



②松江市オンラインアンケート調査

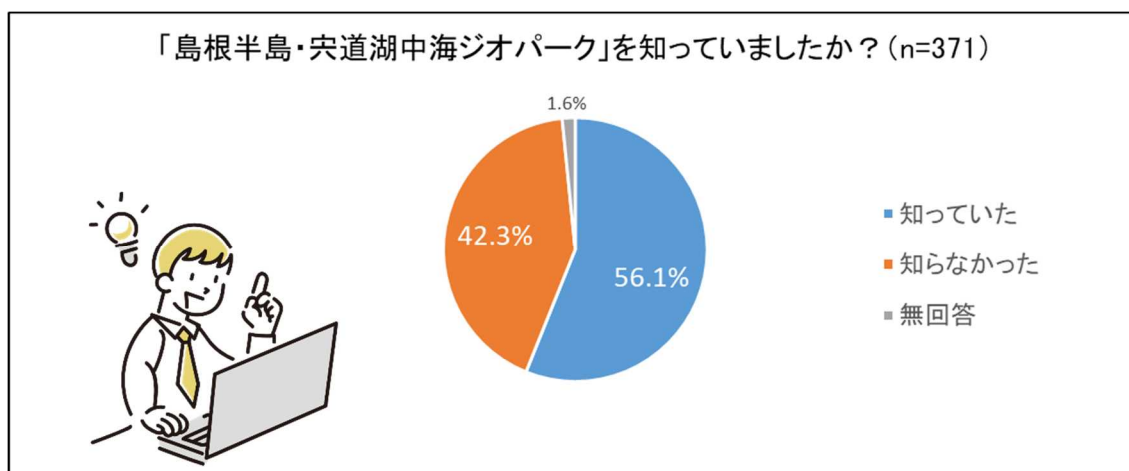
松江市が令和 5 年度にジオパークに関するインターネットを使ったアンケート調査を実施しました。サンプル数 18 件の 77.8%が「島根半島・宍道湖中海ジオパークを知っている」と回答しています。

しかし、サンプル数が 18 件に留まっており、ジオパークに関心ある方の回答割合が高い見込まれるため、認知度が約 80%と高くなっていますが、サンプル数の低さから依然としてジオパークに関する関心や認知度は高くないと推察されます。



③松江ビジターセンター来場者へのアンケート調査

松江ビジターセンター来場者への令和 4 年度アンケート調査では、371 人の回答者の 56.1%が「島根半島・宍道湖中海ジオパークを知っていた」と回答しており、内訳として県内の方が 70%台、県外の方が約 40%となっています。



令和4年度松江ビジターセンター来場者アンケート集計表(n=371)

どこから訪れたか	①松江市内	144	38.8%
	②松江市以外の島根県内	42	11.3%
	③島根県外	185	49.9%
島根半島・宍道湖中海ジオパークを知っていたか	①知っていた	208	56.1%
	②知らなかった	157	42.3%
	③無回答	6	1.6%

※訪問元別の集計

どこから訪れたか	①松江市内	144	
島根半島・宍道湖中海ジオパークを知っていたか	①知っていた	101	70.1%
	②知らなかった	38	26.4%
	③無回答	5	3.5%

どこから訪れたか	②松江市以外の島根県内	42	
島根半島・宍道湖中海ジオパークを知っていたか	①知っていた	33	78.6%
	②知らなかった	9	21.4%
	③無回答	0	0.0%

どこから訪れたか	③島根県外	188	
島根半島・宍道湖中海ジオパークを知っていたか	①知っていた	74	39.4%
	②知らなかった	110	58.5%
	③無回答	1	0.5%

【参考】松江市以外の島根県内(42名)うち出雲市分18名分の内訳

どこから訪れたか	②のうち出雲市	18	
島根半島・宍道湖中海ジオパークを知っていたか	①知っていた	14	77.8%
	②知らなかった	4	22.2%
	③無回答	0	0.0%

2) ジオパークの認知度に関する現状

- ①「ジオパーク」及び「島根半島・宍道湖中海ジオパーク」を知っている地域内外の方は50%程度と考えられ、ジオパークに対する認知度はまだ十分ではありません。

- ②また、島根半島・宍道湖中海ジオパークという名称は聞いたことがあっても、ジオパークの目的や意義を理解している人は少ないと考えられます。
- ③島根半島・宍道湖中海ジオパークの認知度を向上させるとともに、目的や活動意義の浸透を図り、ブランド価値を定着させていく必要があります。

(2) 「島根半島・宍道湖中海ジオパーク」ブランド整理の必要性

- ①令和3年度に行われた日本ジオパーク再認定審査では、ジオパーク名の「島根半島・宍道湖中海ジオパーク」に対し、「出雲国ジオガイドの会」、「国引きジオブランド」、「国引きの大地」と様々な名称があり分かりにくいいため、ブランディング戦略の策定を求められています。

4 ターゲティング（誰に向けたブランドなのか）

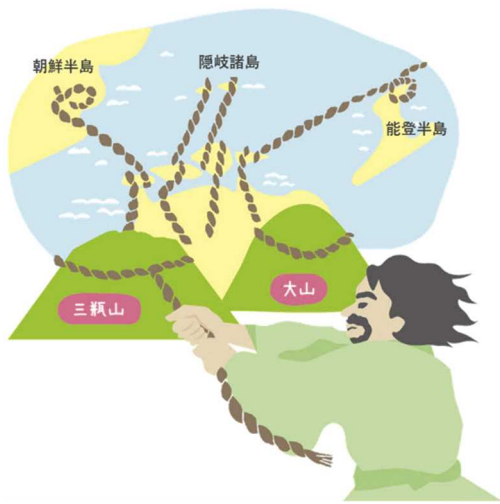
島根半島・宍道湖中海ジオパークエリアの地域住民はもとより、地域外の方にも島根半島・宍道湖中海ジオパークブランド価値の定着をめざしていきます。



5 ブランドポジショニング（立ち位置、差別化するポイント）

- (1) 「ジオパークが、地域のあらゆる自然・文化遺産と関連した地質遺産を活用することで、地球資源の持続的利用、気候変動の影響緩和、自然災害の影響軽減といった社会が直面している重要課題への意識と理解を高めることを目的とする地域」であるというジオパークの目的や意義の浸透を図ります。
- (2) そのために他ジオパークとの差別化として「島根半島・宍道湖中海ジオパーク」の最たる特徴である「出雲国風土記や国引き神話と大地の成り立ちのつながり」を活用していきます。





※ 出雲国風土記の冒頭に書かれた「国引き神話」では、八束水臣津野命（やつかみずおみづぬ）という神様が、出雲の国は小さくつくりすぎたといって、4回も土地を引っ張ってきて、出雲の国をつくったとされています。国を引っ張った綱が「菌の長浜」と「弓ヶ浜」で、綱を結んだ杭が「三瓶山」と「大山」でした。

神話の舞台である島根半島は、宍道褶曲帯と呼ばれる大規模な地殻変動が起こったことを示す地質構造で、出雲国風土記では引き寄せた陸塊が つなぎ合わさった場所を折絶（おりたえ）と呼び、

その場所は地殻変動でできた大規模な断層や褶曲の起こった場所、岩石の種類が異なった地層の境界部分に相当しています。また、出雲国風土記で神様が陸塊を綱で引く様子は、約 2000 万年前から約 1000 万年前に、大陸が分裂して日本列島が分離し、日本海に島根半島が出現した地球科学のプレート運動にイメージ的に似ています。

6 ブランドアイデンティティ（このブランドにどのようなイメージを持ってほしいのか、どのような価値観を提供したいのか、このブランドが何を達成しようとしているのかといったコンセプトを明確にしたもの）

(1) 「島根半島・宍道湖中海ジオパーク」ブランドに持ってほしいイメージ

国引き神話と大地の成り立ちがつながる神秘のエリア

(2) 提供したい価値観

地球遺産と歴史・文化が織りなす神秘の世界でかけがえのない感動体験ができる。

(3) 「島根半島・宍道湖中海ジオパーク」ブランドを通じてめざすこと

ブランディング戦略を通じて、島根半島・宍道湖中海ジオパークマスタープランに定める『目指す地域像』の実現に寄与することとします。

- ①地球遺産を次世代に引き継ぐ。
- ②誇りと愛着を育み、持続可能な地域づくりにチャレンジする人材を育てる。
- ③訪れる人にジオ・エコ・ヒトを伝えることで、島根半島・宍道湖中海ジオパークの魅力を満喫させる。(地域振興、観光振興)



7 ブランドを象徴するキャッチコピー、愛称、ロゴマーク、シンボルマーク

○キャッチコピー

○愛称 「国引き」

「出雲国風土記の自然と歴史に出会う大地」

○ロゴマーク



○シンボルマーク



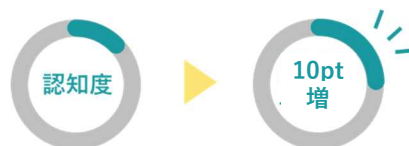
8 「島根半島・宍道湖中海ジオパーク」の認知度やブランド価値の向上を確認するための指標

(1) ビジターセンター来場者へのアンケート調査結果

ビジターセンター来場者へのアンケート調査について、令和8年度における「島根半島・宍道湖中海ジオパークを知っていました」と回答する方の割合を令和4年度と比べて10ポイント増加させることをめざします。

令和8年度を目標とするのは、令和4～7年度島根半島・宍道湖中海ジオパーク推進行動計画（マスタープラン、アクションプラン）

の計画期間満了に伴う状況を確認するためです。



【「島根半島・宍道湖中海ジオパークを知っている」と回答する方の割合】

令和4年度（現状値）	令和8年度（目標値）	増加分
56.1%	66.1%	10ポイント

(2) ビジターセンター来場者数

松江ビジターセンター及び日御碕ビジターセンターの来場者数の増加をめざします。

	令和4年度 （現状値）	令和5年度	令和6年度	令和7年度
松江ビジターセンター 来場者数/年度(人)	4,525	4,700	5,300	5,400
日御碕ビジターセンタ ー来場者数/年度(人)	18,230	30,000	36,000	40,000

※ビジターセンター来場者数は、令和4～7年度島根半島・宍道湖中海ジオパーク推進行動計画（マスタープラン、アクションプラン）のKPIとして設定しています。

(3)通年で展開できるジオツアーの造成



①島根半島エリア、②出雲平野・宍道湖中海低地帯エリア、③南部丘陵山地エリア、それぞれのエリアの特性を生かしたジオツアーを造成し、体験を通じて認知度やブランド価値を向上させる。

9 「島根半島・宍道湖中海ジオパーク」ブランドの認知を広めるための取組

- (1)ホームページやSNSでの発信
- (2)プロモーション動画のインターネットなどでの発信
- (3)ジオパーク主催イベント等での発信
- (4)マスメディアを通じた発信
- (5)ジオガイドやジオパーク活動に関わる方による発信
- (6)豊かな歴史と文化を活用した持続可能な観光（サステイナブルツーリズム）の催行
- (7)関係団体のホームページにジオパークロゴマークを掲載するなどを依頼



（名称）

第1条 この協議会は、島根半島・宍道湖中海（国引き）ジオパーク推進協議会（以下「協議会」という。）と称する。

（目的）

第2条 協議会は、島根半島や宍道湖、中海周辺地域（以下「本地域」という。）の地層・岩石・火山に見られる地質学的に貴重な場所を基盤として、そこに息づいてきた人々の歴史・神話・文化を有機的に結び付けたジオパークを目指すものとする。

そして、世界ジオパークネットワークのガイドラインに沿ったジオパーク活動を継続的に推進することで、地域貢献に寄与していくことを目的とする。

（事業）

第3条 協議会は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 本地域における地質学的、生態学的、考古学的、歴史的、文化的調査研究に関する事業
- (2) 本地域における自然環境の保護、自然災害、歴史・神話・文化等の地域教育に関する事業
- (3) 本地域に根ざしたジオパーク資源を活用した産業啓発、観光及びビジネスに関する事業
- (4) 本地域のジオパークの運営、保全、管理及び発展に必要な事業
- (5) ジオパーク関係団体との情報交換及び連絡調整に関する事業
- (6) 上記事業を達成するための地域連携や情報発信に関する事業
- (7) その他目的を達成するために必要な事業

（会員）

第4条 協議会は、協議会の目的に賛同する団体及び個人である会員をもって構成する。

（役員）

第5条 協議会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
 - (2) 副会長 3名
 - (3) 会長代行 1名
 - (4) 監事 2名
- 2 会長及び副会長は会員の互選とし、総会において選出する。
 - 3 副会長の中から会長代りを総会において選出する。
 - 4 監事は、松江市、出雲市の会計管理者とする。
 - 5 役員任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。
 - 6 欠員により補充された役員任期は、前任者の残任期間とする。

（役員職務等）

第6条 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代行する。

- 3 会長代行は、会長が認めるときに会長職を代行する。
- 4 監事は、協議会の会計及び会務を監査する。

(顧問)

- 第7条 協議会に顧問を置くことができる。
- 2 顧問は、会長が委嘱し、次の総会に報告するものとする。
 - 3 顧問は、協議会に対し、必要に応じて助言を行う。

(会議)

- 第8条 本協議会における会議は、総会、幹事会及び専門部会とする。
- 2 定例総会は、毎年1回開催する。
 - 3 臨時総会は、必要に応じ開催する。
 - 4 幹事会は、必要に応じ開催する。
 - 5 専門部会は、必要に応じ開催する。

(総会)

- 第9条 総会は、次の事項を審議し、議決する。
- (1) 規約の制定及び改廃
 - (2) 事業計画及び収支予算に関する事項
 - (3) 事業報告及び収支決算に関する事項
 - (4) その他運営委員会が必要と認める事項
- 2 総会は、会長が招集し、会長が議長となる。
 - 3 総会は、会員の過半数の出席（委任状を含む）がなければ開くことができない。
 - 4 総会の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数の場合は議長の決するところによる。
 - 5 会長は、必要に応じて関係者に総会への出席を求めることができる。
 - 6 総会は、会長が認める場合、書面をもって開催したとみなすことができる。

(幹事会)

- 第10条 協議会の具体的な運営、事業を推進するため、幹事会を置く。
- 2 幹事会は、次の各号に掲げる事項を協議する。
 - (1) 地質・地形遺産の研究に関すること
 - (2) 歴史・神話・文化に関すること
 - (3) 旅行・交通に関すること
 - (4) マスメディア・圏域メディアに関すること
 - (5) 商工・観光に関すること
 - (6) 農林水産業・食品に関すること
 - (7) 環境保全・防災に関すること
 - (8) 地域活動に関すること
 - (9) ミュージアム（学術的展示施設等）の連携に関すること
 - (10) その他会長が必要と認める事項
 - 3 幹事会は、会長代行、行政の代表、部会の代表で構成する。
 - 4 幹事会に幹事長を置き、会長代行が幹事長となる。

- 5 幹事会は、幹事長が招集し、その議長となる。
- 6 幹事長は、幹事会の事務を掌理する。

(専門部会)

- 第 11 条 協議会は、事業を推進するにあたり、専門部会を置き、分野別の課題を整理・検討する。
- 2 専門部会の構成及び所掌事項は、別表のとおりとする。
 - 3 専門部会に部会長及び副部会長を置き、会長が指名した者をもって充てる。
 - 4 専門部会は、部会長が招集し、会の進行を行う。
 - 5 部会長は、専門部会の事務を掌理する。

(事務局)

- 第 12 条 協議会の庶務を処理するため、松江市、出雲市及び島根大学で事務局を構成し、松江市文化スポーツ部内に置く。

(財務)

- 第 13 条 協議会の運営に必要な経費は、負担金及び島根半島・宍道湖中海ジオパークサポーター会費収入、その他の収入をもって充てる。

(会計年度)

- 第 14 条 協議会の会計年度は、毎年 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日をもって終わる。

(会長の専決処分)

- 第 15 条 会長は、総会を招集する時間がないとき、又は総会の権限に属する事項で軽易なものについては、その議決すべき事項について、これを専決処分することができる。
- 2 会長は、前項の規定により専決処分したときは、これを次の総会に報告し、その承認を得なければならない。

(補則)

- 第 16 条 この規約に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この規約は、平成 28 年 3 月 29 日から施行する。

(最初の役員任期の特例)

- 2 この規約の施行後に最初に選任される役員の任期は、第 5 条第 5 項の規定にかかわらず、施行日から平成 30 年 3 月 31 日までとする。

附 則 (名称変更)

この規約は、平成 28 年 11 月 1 日から適用する。

附 則 (幹事会の設置)

この規約は、平成 29 年 3 月 17 日から適用する。

附 則 (名称変更)

この規約は、平成 29 年 11 月 21 日から適用する。

附 則（財務の変更）

この規約は、令和 2 年 8 月 3 日から適用する。

附 則（事務局の変更）

この規約は、令和 4 年 4 月 1 日から適用する。

別表（第 11 条関係）

専門部会名	所掌事項
学術・研究部会	ジオ環境の研究に関すること 歴史・神話・文化に関すること
観光・広報部会	旅行・交通に関すること マスメディア・圏域メディアに関すること 商工・観光に関すること 農林水産業・食品に関すること
保全・教育部会	環境保全・防災に関すること 地域活動に関すること ミュージアム（学術的展示施設等）の連携に関すること